

えちぜん鉄道交通圏 地域公共交通網形成計画

平成27年9月

福井市・勝山市・あわら市・坂井市・永平寺町・大野市

目 次

序章 計画策定の背景と目的	1
第1章 公共交通をとりまく社会経済情勢の変化	2
1-1 えちぜん鉄道交通圏の位置・地勢・沿革	2
(1) えちぜん鉄道の位置	2
(2) バス交通の位置	2
(3) えちぜん鉄道交通圏の地勢	3
(4) えちぜん鉄道設立の経緯	3
1-2 交通圏市町の地域状況	4
(1) 交通圏6市町の人口	4
(2) 年齢構成別の人口	5
(3) 通勤・通学流動	6
(4) 自動車免許保有者数	7
(5) 自動車運転免許返納者数	7
(6) 観光入込客数	8
(7) 全国的なインターネットの利用動向	8
1-3 えちぜん鉄道交通圏の状況	9
(1) 駅周辺の施設	9
(2) 観光・交流施設	9
(3) えちぜん鉄道とバス交通の状況	9
(4) 主要道路交通網の状況	9
(5) 北陸新幹線の状況	9
(6) 上位関連計画	17
1-4 地球温暖化対策とエネルギー問題	21
第2章 えちぜん鉄道の状況	22
2-1 えちぜん鉄道の状況	22
(1) 年度別利用人員の推移	22
(2) 通学・通勤定期利用人員の推移	22
(3) 回数券利用人員の推移	23
(4) 非日常利用人員の推移	23
(5) フェニックス田原町ライン利用人員の推移	23
(6) 路線別の利用人員の推移	24
(7) デマンドバス利用者の推移	24
(8) えちてつサポーターズクラブ会員数の推移	24

第3章 えちぜん鉄道交通圏におけるバス交通の状況	25
3-1 えちぜん鉄道交通圏におけるバス交通の状況	25
(1) 路線バスの状況と機能	25
(2) 路線バスの乗降客数の状況	30
(3) 各市町が運行するコミュニティバス等の利用者数（乗車人員）の推移	32
第4章 えちぜん鉄道交通圏における公共交通網の課題	37
(1) 課題の整理	37
(2) 課題解決に向けた方向性	39
第5章 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画	40
5-1 えちぜん鉄道交通圏 地域公共交通網形成計画	40
(1) 基本方針	40
(2) 計画の期間	43
(3) 計画の区域	43
(4) 計画の目標（目指すべき将来像）	43
5-2 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等	44
(1) 目標達成に向けた施策体系	44
(2) 個別施策の実施主体及びスケジュール	45
5-3 計画推進のための指標	51
(1) 目指すべき公共交通の将来像の指標	51
(2) 目指すべき公共交通の将来像を実現させるための実施目標の指標	52
5-4 計画推進体制	55
(1) P D C Aサイクルの実行	55
(2) P D C Aサイクルの実施体制	55
(3) 協議会及び部会の役割	56

序章 計画策定の背景と目的

福井県及びえちぜん鉄道沿線市町村は、平成 14 年 1 月 22 日の知事・沿線市町村長会議での合意に基づき、それぞれの役割分担によって、えちぜん鉄道の支援を行ってきました。

県は、平成 14 年度から運転再開に必要な工事費、資産取得費等の運転・開業資金以外の初期投資額、設備投資補助の負担を実施してきましたが、「11 年目以降の設備投資等、今後新たに大幅な設備投資が必要となる場合等については、県と市町村が必要に応じて協議を行う」とされており、平成 24 年度以降の設備投資については未定となっていました。

また、沿線市町村は、運行開始した平成 15 年度から鉄道の運行に伴う欠損補填を行ってきており、平成 15 年 12 月 26 日の県と沿線市町村の合意では、「沿線市町村は平成 14 年 1 月 22 日の県との合意事項に基づき、今後、支援スキームによる 10 年間の欠損補填はもとより、それ以降の欠損についても引き続き補填していくものであり、鉄道事業の長期的な継続に責任を持つ」とこととしています。

そこで、平成 24 年度以降の設備投資のあり方や欠損補填のあり方について新たな支援スキームとして位置づけた「えちぜん鉄道公共交通活性化総合連携計画」では、えちぜん鉄道を地域の発展を支える「生活関連社会資本」として位置づけ、鉄道経営者としての自立性を高めるとともに、永く次世代に引き継ぐために必要な支援策をとりまとめました。

今回の「えちぜん鉄道交通圏 地域公共交通網形成計画」は前計画を継承しつつ、えちぜん鉄道及びえちぜん鉄道に接続するバス交通を含めた生活交通の範囲を交通圏と捉え、新たな地域公共交通とまちづくりの計画を策定するものです。

第1章 公共交通をとりまく社会経済情勢の変化

1-1 えちぜん鉄道交通圏の位置・地勢・沿革

地域住民の生活交通の足として、鉄道のみならずバスを含めた移動範囲を交通圏※として捉え、えちぜん鉄道交通圏の位置、地勢、沿革について整理します。

※えちぜん鉄道交通圏：えちぜん鉄道各駅とバス路線網を有機的に結合することで、都市の発展が期待できる交通領域で、福井市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、大野市に及ぶエリア

(1) えちぜん鉄道の位置

えちぜん鉄道は福井市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町の4市1町を走っています。このうち勝山永平寺線は、福井駅から永平寺・勝山方面へ向かう27.8km、三国芦原線は、あわら・坂井方面へ向かう25.2kmの路線です。福井駅でJR北陸本線やJR越美北線と、田原町駅で福井鉄道福武線と結節しています。また、平成19年9月に福大前西福井駅と新田塚駅の間、新駅として八ツ島駅と日華化学前駅が開業しました。

(2) バス交通の位置

京福路線バスは福井駅を発着の拠点として、福井市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、大野市を結ぶ5市1町等を走っています。

コミュニティバスやデマンドバスは、各市町において地域特性を活かした運行が行われ、住民の身近な移動手段として利用されています。

またえちぜん鉄道や京福バスでは、福井市中心部や鉄道駅と大型商業施設等とを結ぶ巡回バスを運行し、買物利用者の利便性を高める取り組みが行われています。

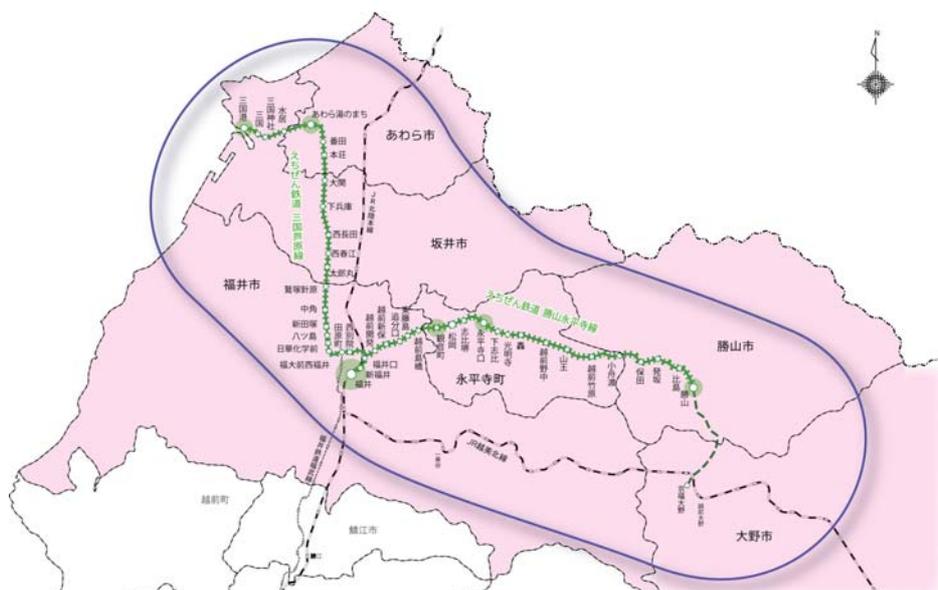


図-えちぜん鉄道交通圏のエリア

(3) えちぜん鉄道交通圏の地勢

勝山永平寺線は、福井市・永平寺町・勝山市を結ぶ路線であり、福井市の福井駅から市街地～河岸段丘～山地へと続き、終点の勝山駅がある勝山市では特別豪雪地帯に指定され、冬期間は積雪量が多い地域を走っています。また勝山駅と大野市街地がバス路線により接続されています。沿線周辺には恐竜博物館やスキージャム勝山、大本山永平寺、越前大野城を始めとする観光施設、大学や高校などの教育機関、医療機関が立地しています。

三国芦原線は、福井市・あわら市・坂井市を結ぶ路線であり、福井市の福井駅から市街地(住宅密集地域)～福井平野を縦断し、日本海に面する三国港まで走っています。沿線周辺には東尋坊やあわら温泉を始めとする観光施設、大学や高校等の教育機関、医療機関や大規模企業、商業施設等が立地しています。

(4) えちぜん鉄道の設立の経緯

えちぜん鉄道の前身である京福電気鉄道越前本線の存続問題は平成4年から起こり、事業者から一部路線の廃線・バス転換が表明されていました。平成10年度から4年間、地域住民の生活の足を確保するため、県及び沿線市町村が運行費等の助成を行い、また廃線の対象となる沿線市町村・地域住民による「乗る運動」が展開されてきました。

このような状況で、平成12年12月と翌13年6月に2度の列車衝突事故を起こし、2度目の事故翌日からは鉄道全線の運行が停止し、バス代行輸送が行われることとなりました。平成13年7月には国土交通省中部運輸局から「安全確保に関する事業改善命令」を受け、同年10月には事業者が鉄道事業廃止届を提出しました。

しかし、鉄道は輸送力が大きく、通勤・通学や地域住民の日常生活を支えるものであること、定時性に優れた公共交通機関として、特に積雪時における移動手段の確保には不可欠であり、また、地域活性化やまちづくりの観点からも重要な社会基盤であるとの認識から、地域住民の強力な鉄道存続運動を受けて、県と沿線市町村は第3セクター方式で、越前本線と三国芦原線を存続させることとなりました。平成14年9月には、えちぜん鉄道が設立され、平成15年10月に全線開通しました。

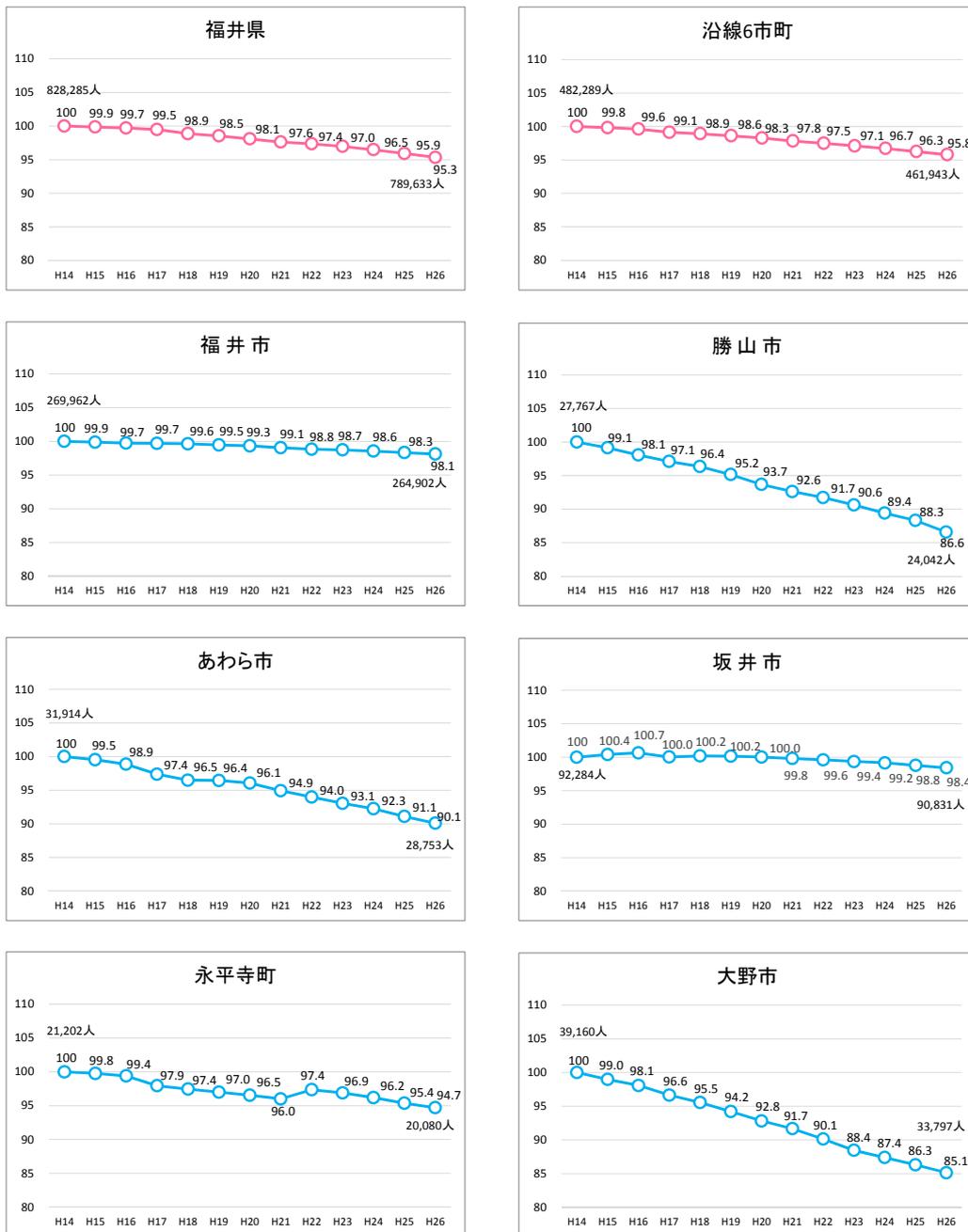
また、京福電気鉄道時代は、鉄道路線が大野市の市街地(大野三番地区(京福大野駅))まで延びていましたが、昭和35年の国鉄越美北線開通後は競合によって乗降客が減少しました。さらにモータリゼーションの進展により、昭和49年に勝山⇄大野間が廃止され、以降は京福バスによる輸送に替わりました。

1-2 交通圏市町の地域状況

(1) 交通圏6市町の人口

交通圏6市町全体の人口について平成14年度を100とし、平成26年度の人口指数をみると、福井県全体では95.3、6市町全体では95.8となっており、福井県全体と同じような人口減少幅となっています。

各市町別では、福井市と坂井市はほぼ横ばいであり、勝山市、あわら市、永平寺町、大野市で減少しています。

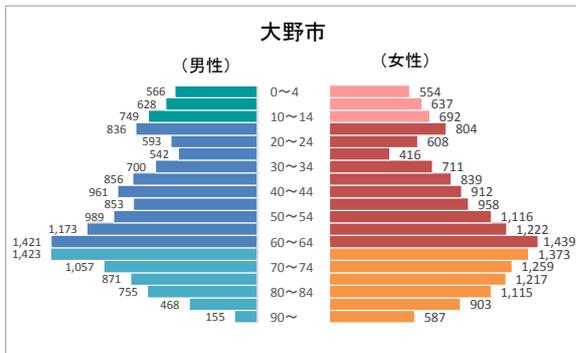
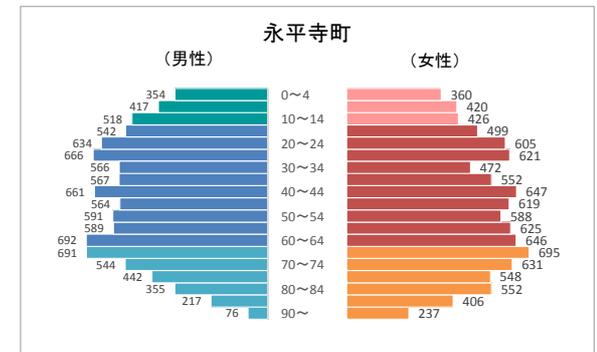
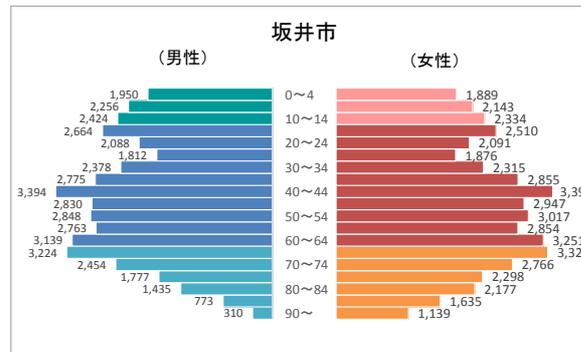
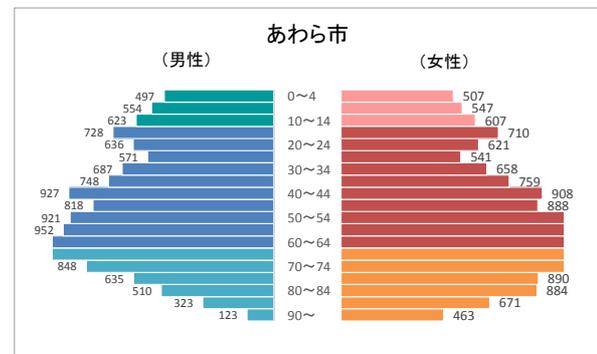
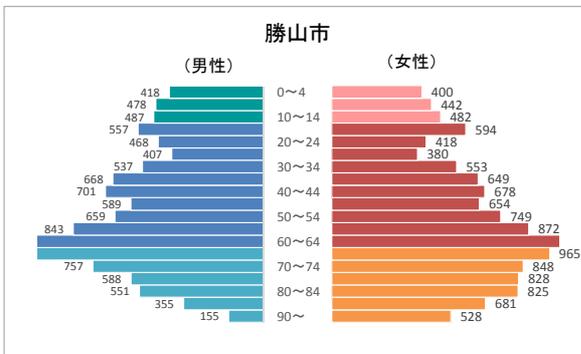
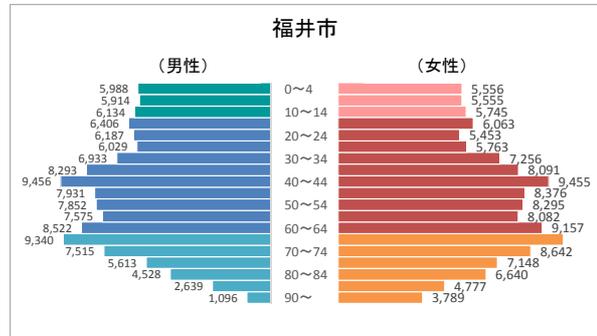
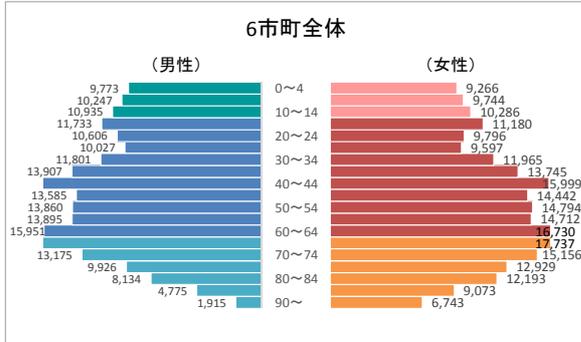


図：福井県及び各市町の人口推移

資料：福井県の推計人口（各年10月1日現在）

(2) 年齢構成別の人口

平成 27 年 4 月 1 日時点での年齢構成別の人口は、6 市町の合計で見ると「60 歳～64 歳」「65 歳～69 歳」「40 歳～44 歳」の人口が多く、年少人口は減少しています。



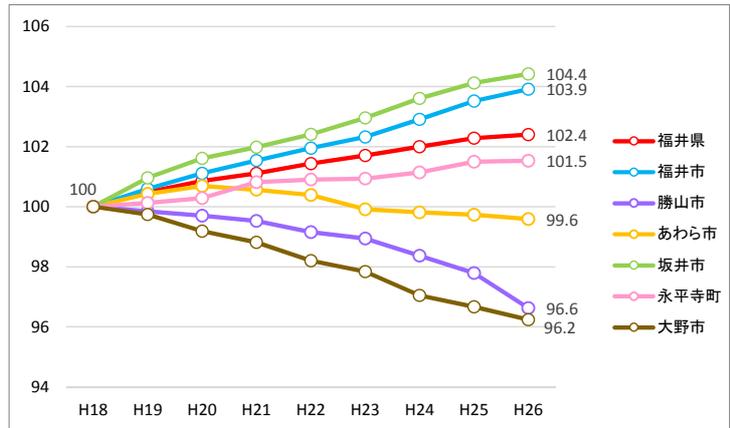
図：各市町の年齢別人口構成

資料：福井県の推計人口（平成 27 年 4 月 1 日現在）

(4) 自動車運転免許保有者数

自動車運転免許保有者数は、平成18年と平成26年を比較すると、福井市・坂井市・永平寺町で増加し、勝山市・あわら市・大野市は減少しています。

平成26年の福井県の指数(102.4)と比べると、坂井市(104.4)と福井市(103.9)は福井県を上回り、運転免許保有者数の伸びが大きくなっています。

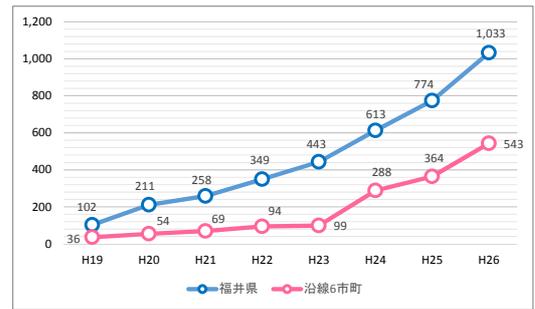


資料：市町別自動車運転免許保有者数 (中部運輸局福井支局、福井県警察本部)

(5) 自動車運転免許返納者数

自動車運転免許の返納者数は、福井県全体・各市町ともに増加傾向にあります。

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
福井県	102	211	258	349	443	613	774	1,033
福井市	16	22	29	28	12	123	159	256
勝山市	0	4	12	24	27	31	46	56
あわら市	7	8	9	32	0	22	26	37
坂井市	2	3	2	0	41	69	82	117
永平寺町	3	9	3	1	3	10	7	17
大野市	8	8	14	9	16	33	44	60
沿線6市町	36	54	69	94	99	288	364	543



表・図 - 福井県全体と各市町別の自動車運転免許返納者数の推移

資料：市町別自動車運転免許保有者数 (福井県警察本部)

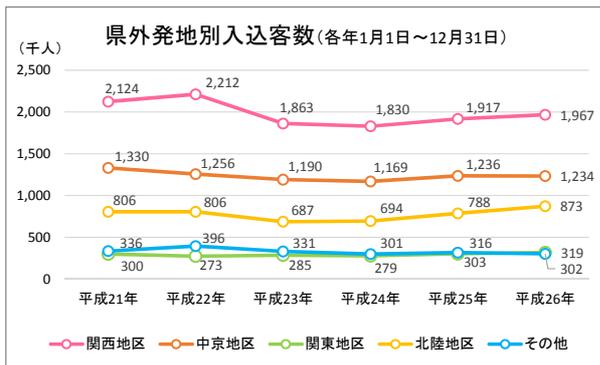
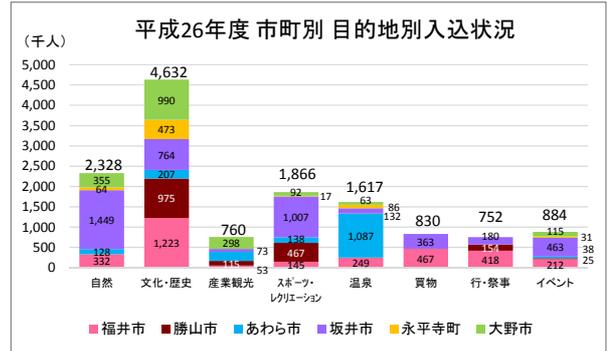
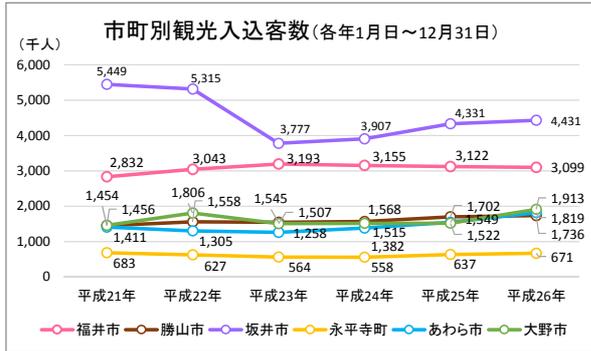
《運転免許返納者への支援》

	制度開始	対象者	支援策
福井市	H24. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> 顔付き住基カードの交付手数料免除 反射材の交付 「福井の特産品セット (5千円相当)」の交付抽選の参加
勝山市	H19. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスおよび市内バスの無料乗車券の交付を支援決定者が死亡または転出などにより勝山市の住民票から削除されるまで 写真付住基カードの無料交付
永平寺町	H18. 2. 13	60歳以上の町民	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの乗車無料
坂井市	H25. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスの無料乗車券の交付 (10年間) 写真付住基カードの交付手数料免除
あわら市	H24. 4. 1	65歳以上の登録者	<ul style="list-style-type: none"> 乗合タクシー100円引き (3年間)
大野市	H24. 4. 1	65歳以上の市民	<ul style="list-style-type: none"> まちなか循環バス、市営バス、乗合タクシー、広域路線バス (大野線、勝山大野線) の大野市内区間について、乗車無料券を交付 (交付枚数の限度なし 10年間)

(6) 観光入込客数

市町別の観光入込客数は全体的に横ばいで推移しています。平成23年は1月～2月の大雪、3月の東日本大震災、6月には高速道路ETC休日特別割引（上限千円）の無料化実験終了、7月は天候不順による海水浴客の減少等の要因が重なり入込客数が落ち込みました。平成25年は経済政策等による景況感が改善し観光需要が回復したことや、ゴールデンウィークや夏季に好天に恵まれたこと等により入込客数が増加に転じています。

※平成23年度以降に坂井市の入込客数が激減しているのは、芝政ワールドの推計方法を変更したため



県外発地別入込客数は平成24年までは減少傾向でしたが、平成25年は北陸新幹線金沢開業を見据え、首都圏や北陸新幹線沿線地域でのプロモーションを強化したことにより、増加に転じています。

出典：福井県観光入込数（推計）

(7) 全国的なインターネットの利用動向

日常生活や観光目的において、パソコンや携帯電話はさまざまな情報を得るためのツールとして必要不可欠なものとなりました。平成25年末の情報通信機器の普及状況は、「携帯電話・PHS」94.8%、「パソコン」81.7%で、「携帯電話・PHS」の内数である「スマートフォン」は、62.6%と急速に普及が進んでいます。また、インターネットの利用目的として、ホームページやブログの閲覧、地図情報サービスや乗換案内・ルート検索等にも多く使われています。

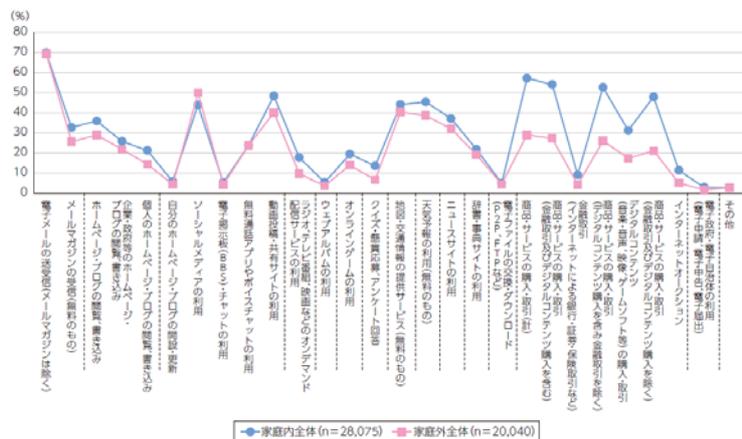


図- 家庭内・家庭外からのインターネット利用目的・用途
出典：平成26年度版情報通信白書

1-3 えちぜん鉄道交通圏の状況

えちぜん鉄道交通圏の駅周辺施設や公共交通・道路状況について整理します。

(1) 駅周辺の施設

勝山永平寺線沿線は、「越前新保駅」周辺に高校や大型の病院が立地しています。「越前開発駅」周辺には、平成23年1月に、ハローワーク及び労働基準監督署が移転立地しました。

三国芦原線沿線は、「田原町駅」周辺や「福大前西福井駅」周辺において大学や高校の教育機関が集積しており、「あわら湯のまち駅」周辺や「三国港駅」周辺では宿泊・温浴施設が多数立地しています。また、「大関駅」「太郎丸駅」「新田塚駅」「日華化学前駅」の各駅周辺では大規模企業が立地しています。

(2) 観光・交流施設

観光入込数が5万人以上の主要行・催事である「勝山左義長まつり」「三国祭」「三国花火大会」「福井フェニックスまつり」「越前時代行列」等は、えちぜん鉄道各駅から最寄りの場所で開催されています。

また、観光入込数が5万人以上の主要観光地である「東尋坊」「大本山永平寺」「恐竜博物館」「芝政ワールド」「あわら温泉」「三国湊街並み散策」「平泉寺白山神社」「大野まちなか観光」等も、駅から発着しているフィーダーバスで結ばれている観光地です。

(3) えちぜん鉄道とバス交通の状況

各市町で運行しているコミュニティバスは、その多くがえちぜん鉄道の各駅に接続した運行形態となっています。福井市・勝山市・永平寺町では鉄道とのダイヤ調整が行われており、利便性が高くなっています。

またえちぜん鉄道の一部駅には路線バスが乗入れ、「三国駅」「あわら湯のまち駅」「永平寺口駅」「勝山駅」は、主要な観光地へのアクセス拠点にもなっています。

(4) 主要道路交通網の状況

勝山永平寺線方面には、国道416号（勝山街道）や県道が並行して走っています。中部縦貫自動車道（永平寺大野道路）は永平寺東IC～上志比IC区間（平成28年度開通）を除き、大野IC～福井北ICが開通し、高速ネットワークの形成が図られています。

三国芦原線方面は、芦原街道（県道5号 福井加賀線）と嶺北縦貫道（県道29号 福井金津線）が並行して走っており、東西方向の道路は鉄道駅付近を走っています。

(5) 北陸新幹線の状況

北陸新幹線は長野⇄金沢間が平成27年3月14日に開通し、首都圏との交流人口の増加やビジネス需要の増大が期待されています。福井県内においては、金沢～敦賀間の開業が平成34年に予定されており、今後、新幹線を含めた交通への対応が求められます。

■公共交通の接続状況（平成27年4月1日現在）
（南北方向の接続状況）

えちぜん鉄道駅		自治体のコミュニティバス等との接続	京福路線バスとの接続
坂井市	三国港	雄島ルート(150m)	89a・89b 金津東尋坊線(100m) 95 三国運動公園線(100m)
	三国	基幹 三国坂井ルート、浜四郷ルート、 雄島ルート、加戸・三国東部ルート	9 路線：16・25・89b・89a・91・95・ 96・97・98
	三国神社	基幹 三国坂井ルート、浜四郷ルート、 雄島ルート、加戸・三国東部ルート(150m)	95 三国運動公園線(150m)
	水居	—	—
あわら市	あわら湯のまち	デマンド区間（登録者のみ利用可）	93 北湯線 89b 金津・東尋坊線（三国駅前先回り）
	番田	デマンド区間（登録者のみ利用可）	—
	本荘	デマンド区間（登録者のみ利用可）	91 金津・本荘線(80m)
坂井市	大関	基幹 三国坂井ルート（右回り）(120m) 坂井（十郷関）ルート(120m)	—
	下兵庫	基幹 三国坂井ルート（右回り・左回り）(130m) 坂井（坂井西部）ルート(130m)	—
	西長田	基幹 丸岡春江ルート（右回り・左回り）(100m) 春江北部東部ルート(100m)	—
	西春江	基幹 丸岡春江ルート（右回り・左回り）(110m) 春江北部東部ルート(110m) 春江西部中部ルート(110m)	—
	太郎丸	春江西部中部ルート(200m)	28 運転者教育センター線(180m)
福井市	鷺塚針原	—	—
	中角	—	—
	新田塚	乗合いタクシー高屋ルート	26 福井総合病院線(180m)
	八ツ島	日新さんさんバス(80m)	20. 21 幾久・新田塚線(290m) 28 運転者教育センター線(290m)
	日華化学前	日新さんさんバス(230m)	20. 21 幾久・新田塚線(300m) 28 運転者教育センター線(300m)
	福大前西福井	日新さんさんバス(60m)	20. 21 幾久・新田塚線(200m) 28 運転者教育センター線(200m)
	田原町	すまいるバス田原・文京ルート(150m)	26 福井総合病院線(100m) 31a 丸岡線（大名町経由）(100m) 30 高木線(100m)
	西別院	すまいるバス田原・文京ルート(100m)	20. 21 幾久・新田塚線(300m) 31b 丸岡線（町屋町経由）(300m)

黒字：駅前広場に乘入れ

青字：鉄道駅からバス停までの距離が50m以内

赤字：鉄道駅からバス停までの距離が300m以内

(東西方向の接続状況)

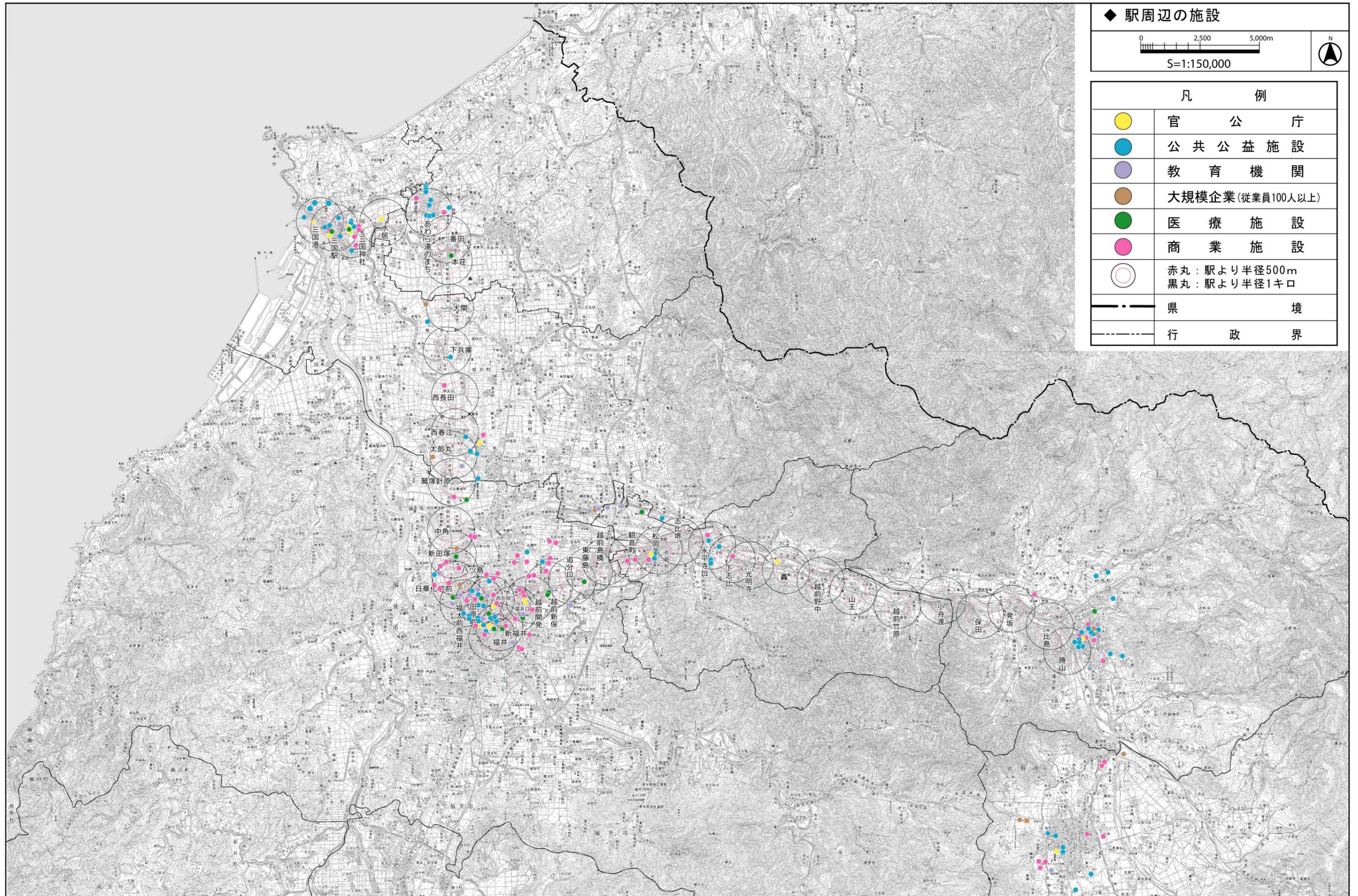
えちぜん鉄道駅		自治体のコミュニティバス等との接続	京福路線バスとの接続
大野市		—	46 勝山・大野線
勝山市	勝山	ぐるりん(越前大仏・平泉寺口方面) ぐるりん(恐竜博物館・水芭蕉方面) 市内観光バス(越前大仏・平泉寺口方面) 市内観光バス(恐竜博物館・水芭蕉方面) 乗合タクシー(9路線)	46 勝山・大野線 48 北郷線
	比島	遅羽線(デマンド区間)	—
	発坂	鹿谷線	—
	保田	—	—
	小舟渡	—	—
永平寺町	越前竹原	上志比地区コミュニティバス	—
	山王	上志比地区コミュニティバス	—
	越前野中	上志比地区コミュニティバス(100m)	—
	轟	—	—
	光明寺	—	—
	下志比	—	—
	永平寺口	永平寺地区コミュニティバス	82 丸岡・永平寺線 87ab 永平寺・東尋坊線(永平寺・芦原温泉駅) 88 永平寺・東尋坊線(永平寺・東古市) 福井・永平寺線(特急)
	志比堺	—	—
	松岡	松岡地区コミバス吉野コース 松岡地区コミバス松岡コース	37 大学病院線(松岡駅経由) 82 丸岡・永平寺線 83 大学病院・松岡線
観音町	松岡地区コミバス松岡コース(100m)	—	
福井市	越前島橋	—	—
	東藤島	—	37 大学病院線(松岡駅経由)(300m)
	追分口	—	—
	越前新保	あおぞらくん新保・大和田巡回バス	37 大学病院線(松岡駅経由)(140m)
	越前開発	—	—
	福井口	—	37 大学病院線(松岡駅経由)(180m)
	新福井	すまいるバス城東・日之出方面(180m)	6 路線: 21、31b、35、36、53、54(180m)
	福井	すまいるバス田原・文京方面 すまいるバス照手・足羽方面 すまいるバス木田・板垣方面 すまいるバス城東・日之出方面	

黒字：駅前広場に乗り入れ

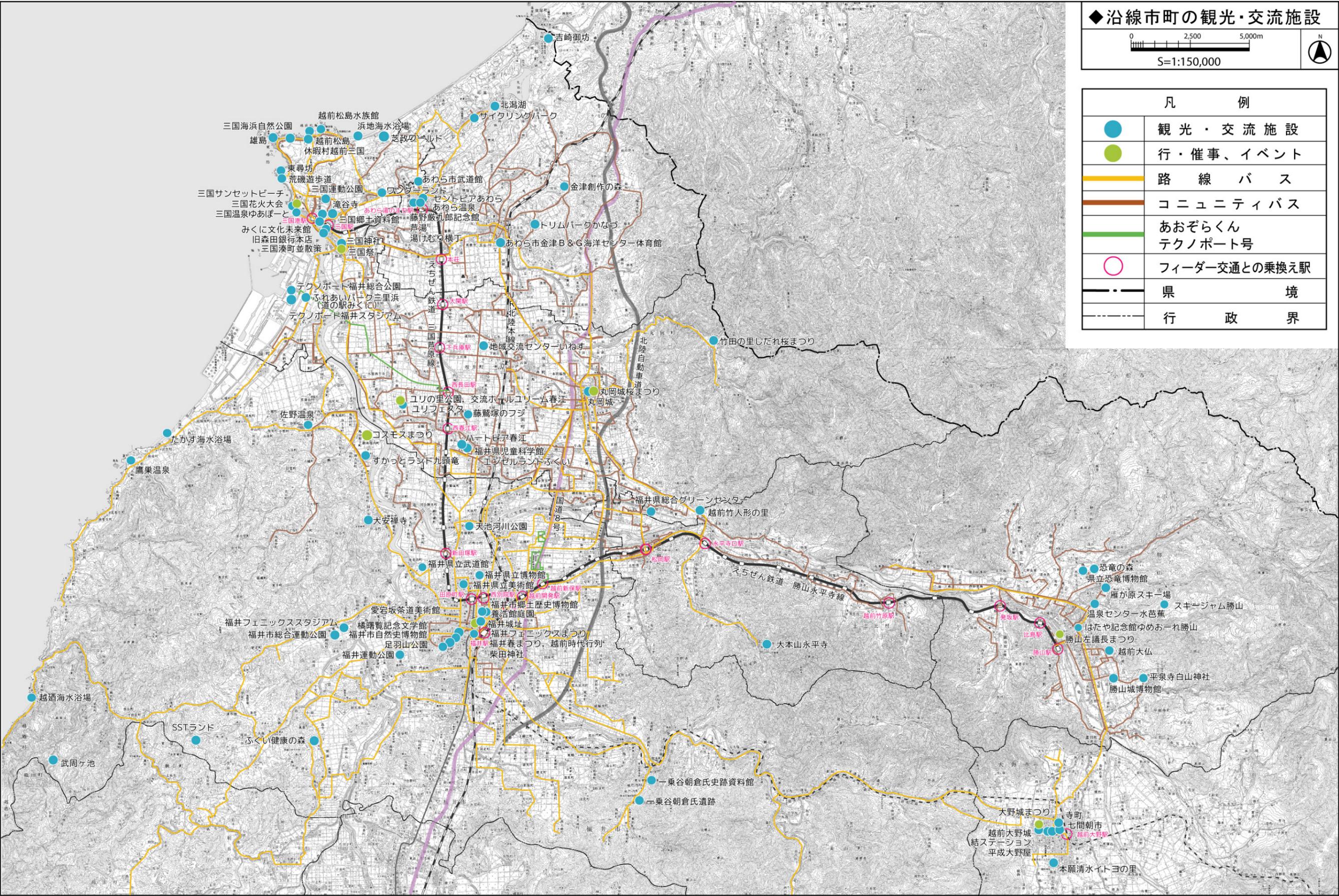
青字：鉄道駅からバス停までの距離が50m以内

赤字：鉄道駅からバス停までの距離が300m以内

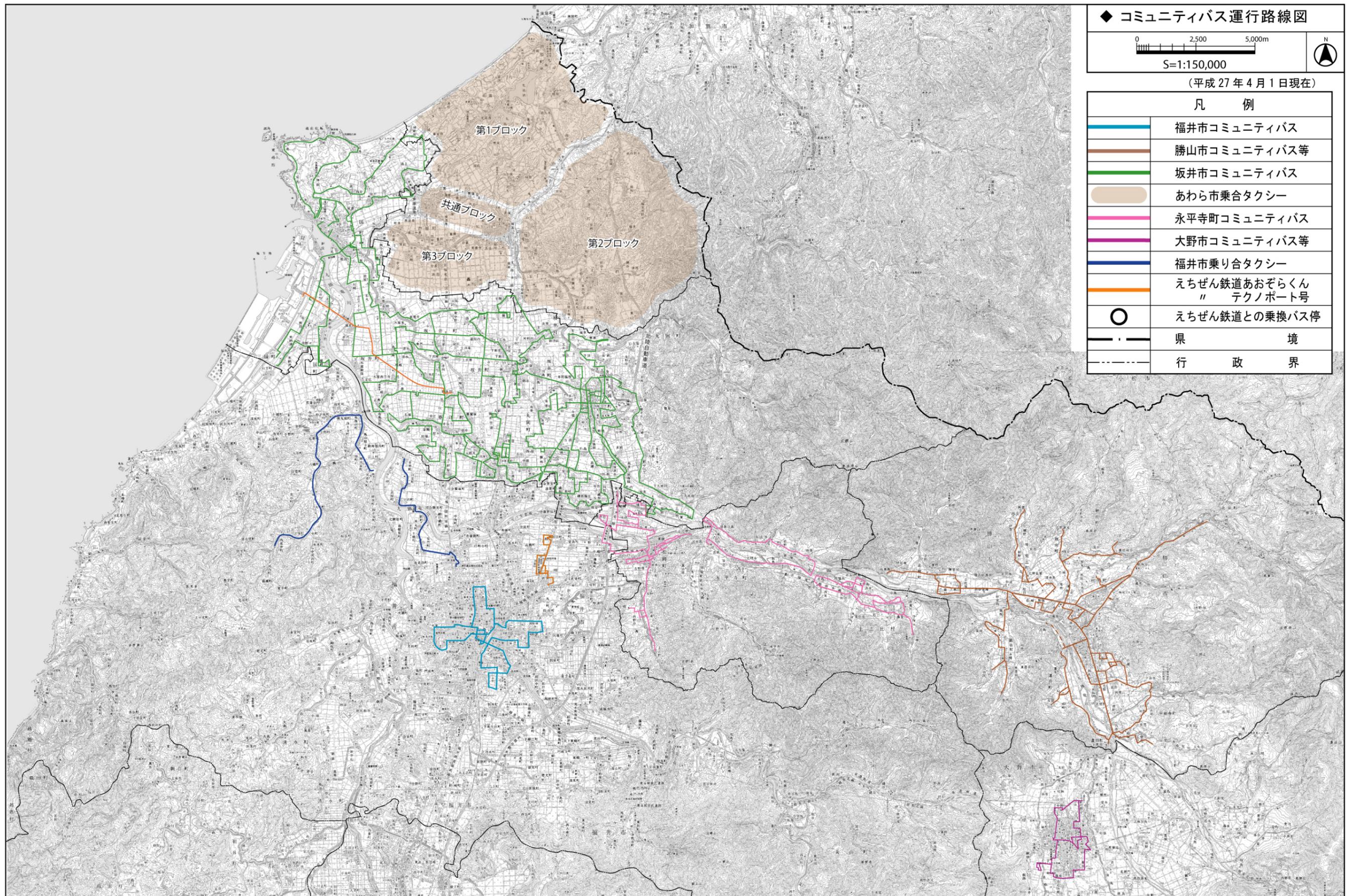
(1) 駅を中心とした施設



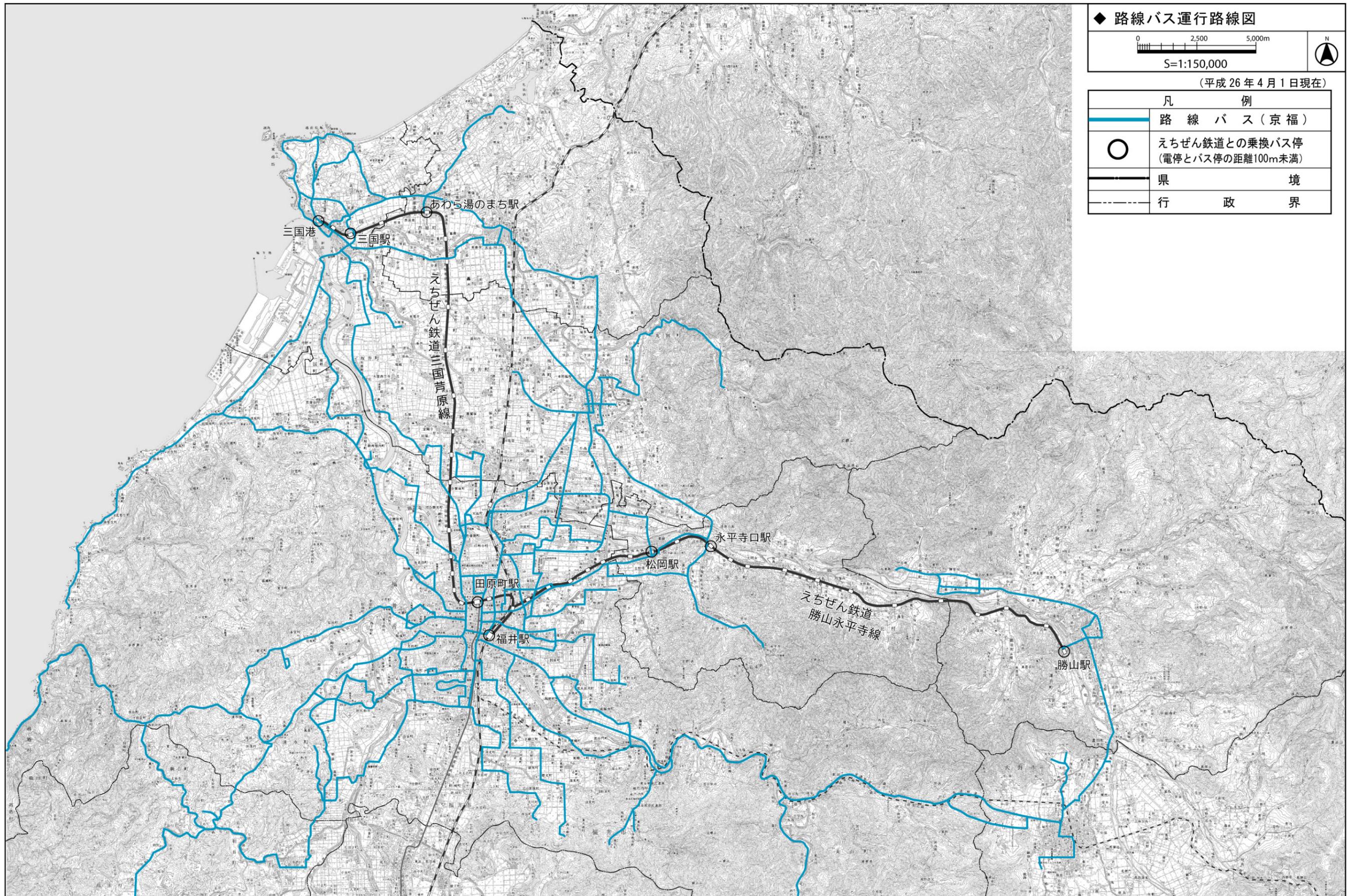
(2) 各市町の観光・交流施設



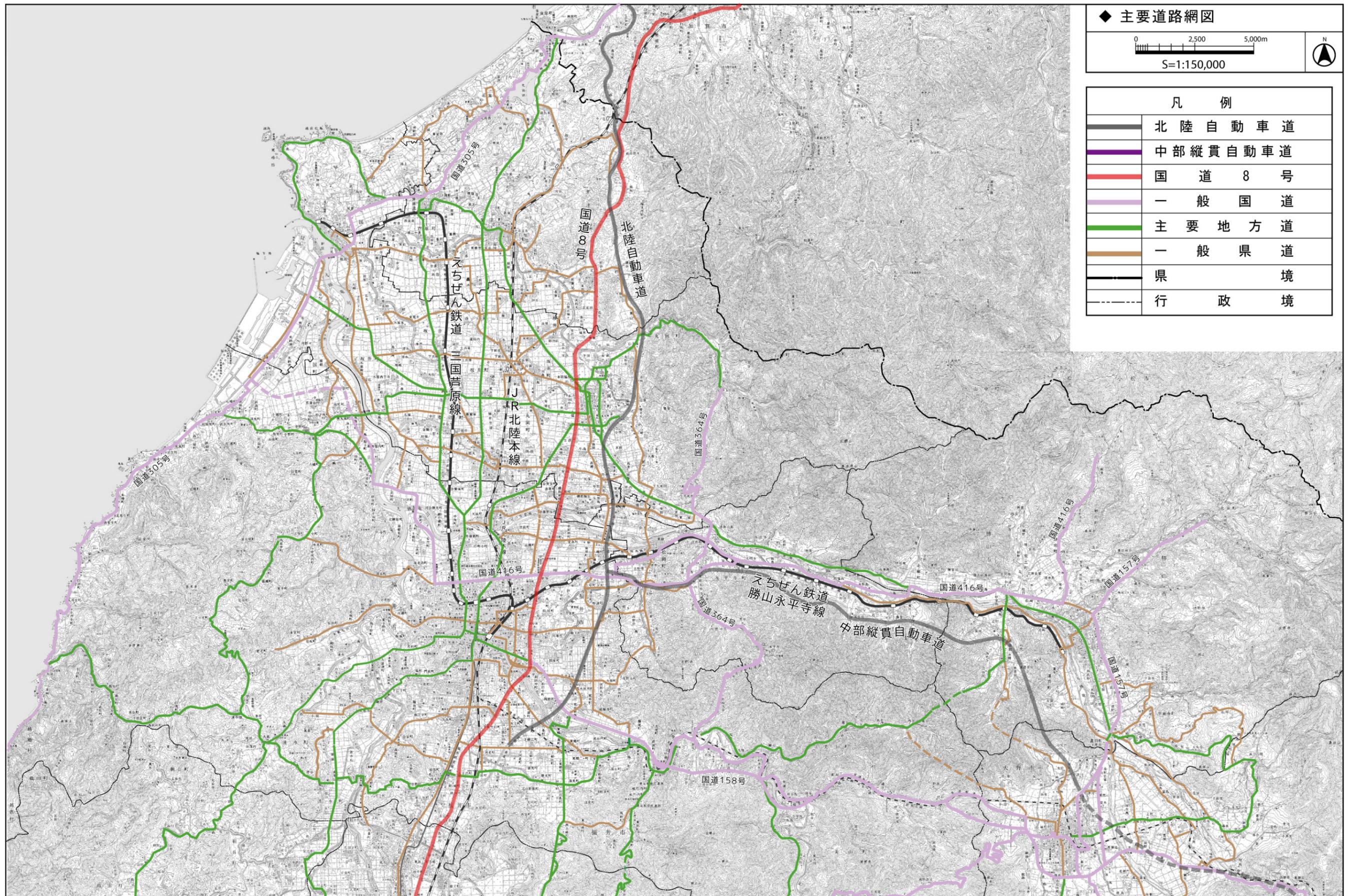
(3) コミュニティバスの運行状況



(4) 路線バスの運行状況



(5) 主要道路網の状況



(6) 上位関連計画

本計画の策定にあたって各沿線市町の上位関連計画において、公共交通は以下のように位置づけられています。

都市名	公共交通の考え方
福井市	<p>【改訂福井市都市計画マスタープラン H22.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成42年</p> <p>◇理念：暮らしの豊かさを実感できる「歩きたくなる」まち</p> <p>◇暮らしの豊かさを支える視点と推進方針</p> <p>《生活の視点：身近な生活空間づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域を支える拠点づくり（地域拠点の形成） <ul style="list-style-type: none"> 自動車に過度に依存した行動を見つめなおし、一定のまとまりを有する日常生活圏ごとに、公共交通と連携した場所を地域拠点と位置づけ、日常生活を支える機能の集積を誘導します。 <p>《交流の視点：移動の骨格づくり》</p> <ul style="list-style-type: none"> 全域交通ネットワーク実現のため公共交通の骨格づくり <ul style="list-style-type: none"> JR福井駅を中心として既存ストックを活かした公共交通ネットワークを実現するため6方向（南北2方向・東西4方向）の公共交通幹線軸を基本として鉄道やバス等の利便性を高めるとともに、拠点となる駅やバス停などへのアクセスを向上します <p>【福井市観光ビジョン H20.2 策定】</p> <p>◇目標年次：平成29年</p> <p>◇理念：福井市民が誇りを持てる 住んで楽しい観光まちづくり</p> <p>◇施策体系</p> <p>《方向性2 周辺地域との連携強化》</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力をつなぐ広域観光のネットワークづくり <ul style="list-style-type: none"> 福井市の周辺にある観光地や市内の観光施設などを結び、福井市を拠点とした広域観光を実現する観光周遊バスや観光タクシーなどによる観光交通ネットワークの充実を推進します。また既に運行されている鉄道やバスなどのより便利で快適な乗り継ぎを推進し、観光の足として機能を高めていきます。 <p>【第2期福井市中心市街地活性化基本計画 H25.4 策定】</p> <p>◇目標年次：平成30年度</p> <p>◇テーマ：官民協働のまちなかにぎわいステージづくり</p> <p>◇基本方針</p> <p>《方針1 観光客・来街者の行き交い、おもてなしなど いろどりを整える》</p> <ul style="list-style-type: none"> 行き交いのいろどりを整える事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> 交通結節機能の強化や公共交通サービスの向上、自転車利用環境の向上に向けて、低床車両への更新、コミュニティバス事業、公共交通のまちなかフリーキップ導入、駐輪場整備等を行う <p>《方針2 魅力あるまい、生活、働く環境を充実する》</p> <ul style="list-style-type: none"> 魅力ある住まいの環境を充実する事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> 既存ストックの有効活用や建替え居住の促進に向けて、住宅のリフォーム補助、住宅建設補助、家賃補助等を行う

都市名	公共交通の考え方
勝山市	<p>【勝山市総合計画 H23.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成32年度</p> <p>◇理念：エコミュージアムによる ふるさとルネッサンスの実現</p> <p>◇施策の中項目：人にやさしい交通体系の確立</p> <p>《利用しやすいバス体系の整備と利用促進》 各地区の利用者のニーズを把握し、高齢者など、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図ります</p> <p>《乗りやすい鉄道の整備と利用促進》 勝山の特色を活かした事業や観光地と連携した地域密着型の電車利用促進を行い、利用者の増加と地域の活性化を図ります</p> <p>【改訂勝山市都市計画マスタープラン H23.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成32年度</p> <p>◇基本目標：「小さくてもキラリと光る誇りと活力に満ちたふるさと勝山」の実現</p> <p>◇公共交通網の配置・整備方針</p> <p>《えちぜん鉄道の利用促進》 高齢者や通勤・通学者に対する移動性の確保、環境負荷の軽減などを図るため、鉄道事業者と連携しながら、えちぜん鉄道の利用を促進し更なる活等を検討します。</p> <p>《生活交通環境の整備》 えちぜん鉄道勝山駅を起点に運行されているコミュニティバス・市内バスに加えデマンドバスや乗合タクシーも含めて、きめ細かいバス運行体系の整備を図るとともに、まちづくりや観光施策とも連携しながら生活交通環境の整備を促進します。</p>
坂井市	<p>【坂井市総合計画 H20.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成29年度</p> <p>◇将来像：輝く未来へ…みんなで創る希望の都市</p> <p>◇施策の大綱：安心で快適な暮らしを支えるまちづくり</p> <p>《鉄道輸送の充実と利用促進》 えちぜん鉄道三国芦原線の各駅において、駅舎の美化やバリアフリー化の環境整備を進めます。特に市街地に位置する鉄道駅では、景観にも配慮した駅舎の整備や情報発信などの機能充実、駅周辺の整備、駅へのアクセス性の向上など、地域の玄関口・拠点にふさわしい環境整備に努めます。</p> <p>【坂井市都市計画マスタープラン H20.6 策定】</p> <p>◇目標年次：平成39年度</p> <p>◇理念：輝く未来へ…みんなで創る希望の都市</p> <p>◇施策の大綱：車に過度に依存しない多様な交通体系整備の方針</p> <p>《鉄道とバスの密接な連携による公共交通の充実》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関を円滑に乗り継ぐことができる環境整備 <p>鉄道バスの利用を促進するため、駅へのアクセス道路の整備充実、駅周辺における駐車場や駐輪場の確保やバリアフリー化を図ります。 えちぜん鉄道三国駅等を中心としてコミュニティバスとの連携を確保し、安心して公共交通を利用できる環境を整えます。</p>

都市名	公共交通の考え方
永平寺町	<p>【永平寺町総合振興計画 H20.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成 29 年度</p> <p>◇将来像：うるおい・やすらぎ・人がきらめくまち えいへいじ</p> <p>◇施策大綱：公共交通体系の整備と利用促進</p> <p>≪えちぜん鉄道の支援≫</p> <p>通学者への利用促進とイベント等での連携強化により地域をあげて積極的に電車利用を促す</p> <p>マイレール意識の高揚として、駅舎周辺の管理・美化・清掃等を自ら実施するために、町民・行政・えちぜん鉄道・サポート団体が協力し、電車が安全確実に動くことのできない住民の足であるという PR 活動を普段より展開していきます。</p> <p>≪バス交通体系の整備≫</p> <p>効率的で効果的なバス交通体系のネットワーク化を図り、日常の利便性向上を図るコミュニティバスの運行等、交通弱者の足の確保に努め、路線バスとコミュニティバスと電車の結節を、利用者に便利のように整備していきます</p> <p>【永平寺町都市計画マスタープラン H22.3 策定】</p> <p>◇目標年次：平成 42 年度</p> <p>◇将来都市像：水と歴史に学び誇りを紡ぐ「住み続けたい」緑のまち</p> <p>◇交通体系の整備方針：</p> <p>貴重な地域資産である鉄道を活かした公共交通ネットワークの強化・充実</p> <p>○鉄道駅の利便性向上・機能拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎、各支所の最寄駅とその周辺において優先的なバリアフリー整備 ・住民利用者が確実に見込まれる場合は新駅設置や運行改善に取り組む <p>○駅周辺の定住支援施策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅周辺区域への定住に対する補助額の上乗せ等、住宅需要を駅周辺で受止める <p>○鉄道とバスの連携強化による利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスのサービス水準の維持と充実 ・えちぜん鉄道とバスの乗継ぎ利便性を高めるための、共通 IC カード導入への働きかけ <p>○自転車利用の利便性向上による鉄道の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクルトレインの利用促進とレンタサイクルの配備・充実 <p>○広域連携による公共交通で通勤通学可能なエリアの拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市北部におけるバス網とえちぜん鉄道勝山永平寺線との連絡強化 <p>○玄関口となる鉄道駅の案内機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永平寺口駅、松岡駅、志比塚駅の観光情報案内の強化 <p>○車窓から望む美しい風景づくり、観光交流との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季ごとの車窓からの眺望スポットの紹介や企画電車の運行による乗って楽しい鉄道づくりの促進 ・瓦屋根の風情ある駅舎や鉄道遺産を活かした観光交流のまちづくり <p>○地域住民によるまちづくり活動の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅舎の清掃や簡易修繕、駅舎内の模様替え等、地域の遺産としたまちづくりの促進 <p>○町民等による公共交通利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「えちぜん鉄道電車利用促進助成金」の利用促進に向けた広報の充実と公共交通の利用促進

都市名	公共交通の考え方
あわら市	<p>【あわら市都市計画マスタープラン】</p> <p>◇目標年次：平成37年度</p> <p>◇将来像：多様な自然と温泉情緒が誘う 生活感動都市</p> <p>◇公共交通の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスは通勤や通学、買物、通院など日常的に不可欠な公共交通として確保するとともに、観光客への利便性向上に努めます ・乗合タクシーは路線バスではカバーしきれない部分を担うバスシステムとして、だれもが利用しやすい自由度の高い運行に努めます ・えちぜん鉄道あわら湯のまち駅周辺は、交通結節機能を強化するとともに、温泉街ならではの情報発信や市民の交流、にぎわいの拠点として多目的な機能を導入強化します
大野市	<p>【第5次大野市総合計画】</p> <p>◇目標年次：平成32年度</p> <p>◇将来像：ひかりかがやき、たくましく、心ふれあうまち</p> <p>◇基本施策：公共交通体手段の確保</p> <p>《バス運行の充実》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験運行の結果を基に、利便性の高い運行体系や効率的な運行方法など、大野市に合った持続可能な公共交通体系を構築します。 <p>【改訂大野市都市計画マスタープラン】</p> <p>◇目標年次：平成42年度</p> <p>◇まちづくりの目標：豊かな自然環境や歴史、文化を大切に、 市民の誇りと交流が育まれる 元気なまち</p> <p>◇公共交通の方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前大野駅では、鉄道とバスの乗り継ぎの改善や駅前広場の整備を行い、市民や来訪者の利便性の向上に努めます

1-4 地球温暖化対策とエネルギー問題

二酸化炭素（以下 CO₂）を始めとする温室効果ガスの排出量が急増し、1906年から2005年の100年間で地球の平均気温は0.7℃(本県では1.4℃)上昇しています。また、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」の第5次評価報告によると、21世紀末には地球の気温は最大4.8℃、海面水位は最大82cm上昇すると予測されています。

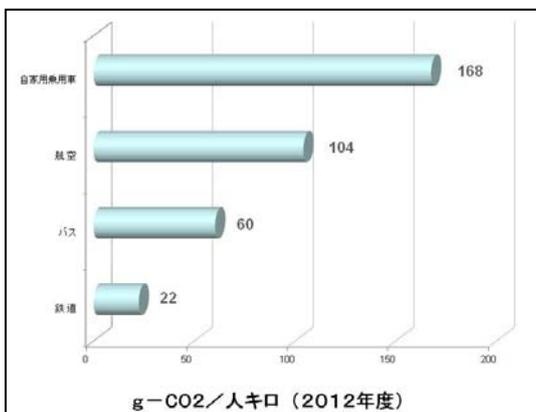
温室効果ガスの排出を抑制し、地球温暖化を防止することは国際的な緊急課題であり、平成9年12月に京都で開催された「気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)」では、先進国の温室効果ガスの排出削減目標を定めた京都議定書が採択されました。

わが国のCO₂排出量のうち運輸部門からの排出^{*1}が18%で、このうち9割弱が自動車に起因するものとなっています。

また福井県の1世帯あたり自家用乗用車保有台数^{*2}は、平成25年3月末時点で1.77台となっており、全国1位となっています。このことから、CO₂排出量を抑制し、低炭素社会の実現を目指すため、自家用乗用車への過度の依存から、環境負荷の小さい公共交通機関への利用転換を進める必要があります。

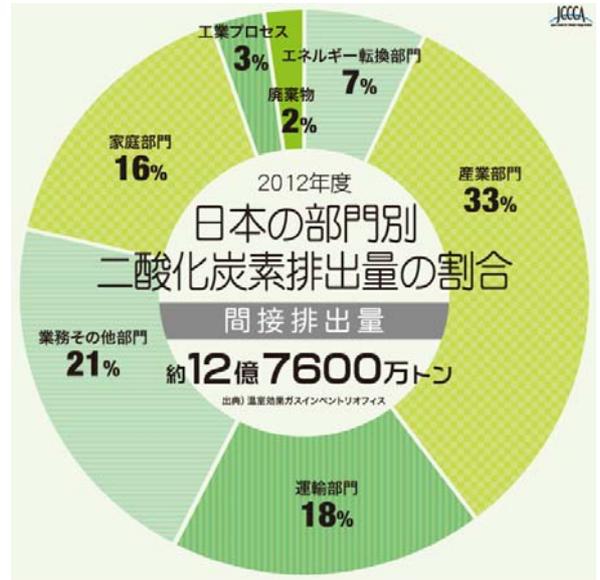
※1 国土交通省における地球温暖化対策について【概要】
 ※2 一般財団法人自動車検査登録情報協会 公表資料

図-旅客輸送機関別の二酸化炭素排出量



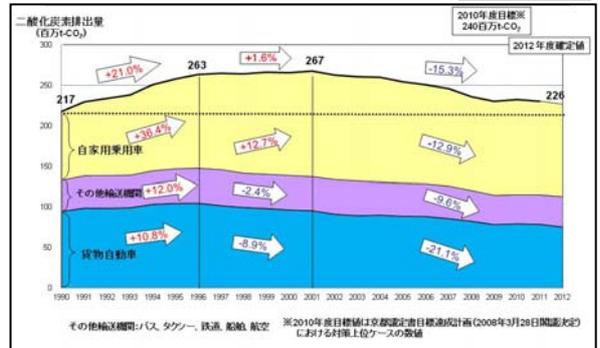
資料：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」

図-二酸化炭素の部門別排出量の割合(2012)



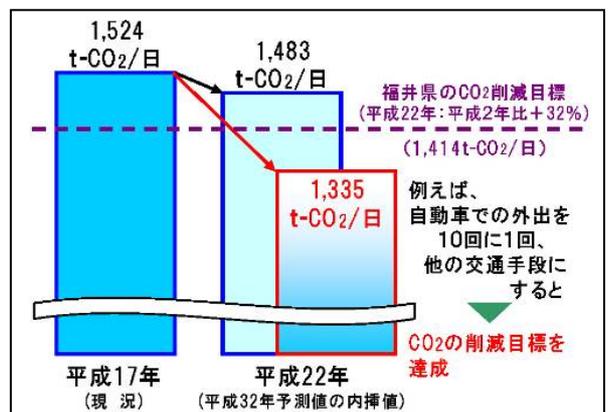
資料：JCCA「日本の部門別二酸化炭素排出量」

図-運輸部門における二酸化炭素排出量の推移(2012確定値)



資料：国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」

図-二酸化炭素排出削減に向けた活動イメージ



資料：福井市都市交通戦略

第2章 えちぜん鉄道の状況

2-1 えちぜん鉄道の状況

(1) 年度別利用人員の推移（フェニックス田原町ラインを除く）

乗車人員の推移は開業後順調に利用者数を伸ばしていますが、平成26年度は325万人で前年度の乗車人員を上回ることができませんでした。

平成21年度は微減に転じていますが、これは景気後退や高速道路上限千円等の影響を受けたものと推定されます。

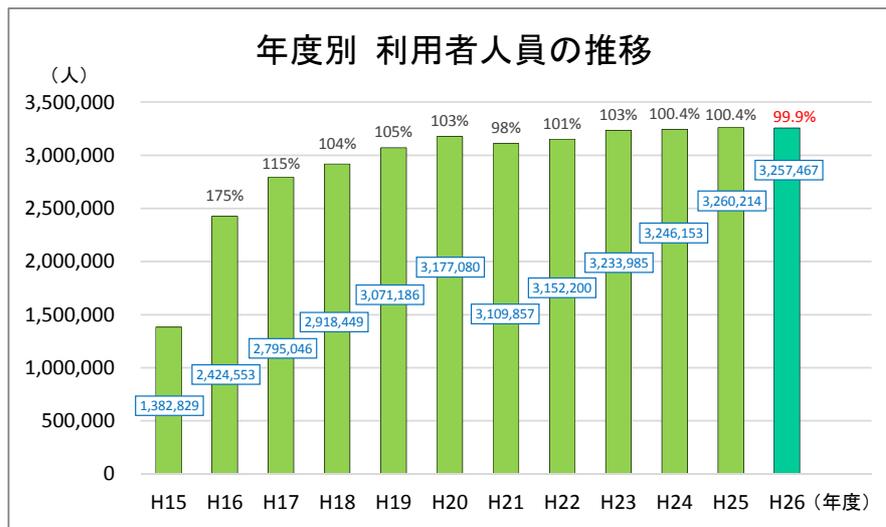


図- 年度別利用者人員推移

(2) 通学・通勤定期利用人員の推移（フェニックス田原町ラインを除く）

通学定期利用は開業後から増加を維持しています。平成24年度と平成25年度は減少していますが、平成26年度は増加に転じています。

一方、通勤定期利用は、平成20年度の原油高騰により、マイカーからの転換によって定期利用が大きく増加しました。平成21年度と平成25年度は減少に転じましたが、通勤定期はプラス5%で増加しています。

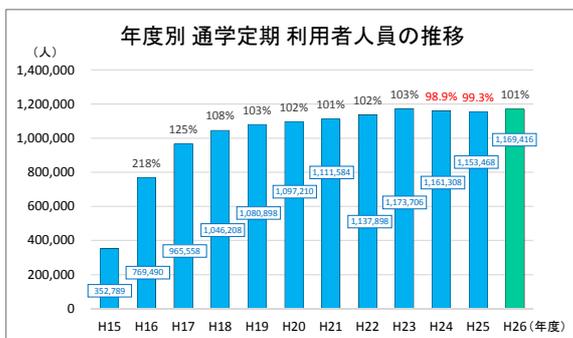


図- 年度別 通学定期 利用人員推移

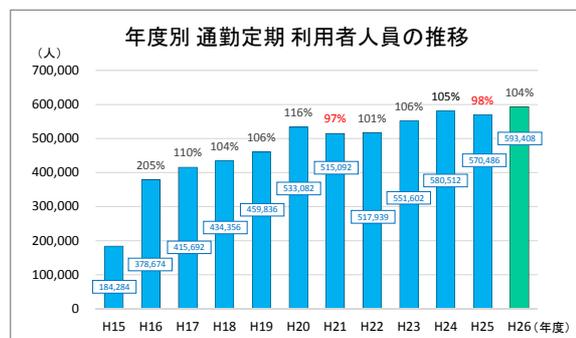


図- 年度別 通勤定期 利用人員推移

(3) 回数券利用人員の推移（フェニックス田原町ラインを除く）

回数券の利用人員の推移は、開業から増減を繰り返しています。平成25年度は、消費増税前の駆け込み需要により利用者の増加がみられました。

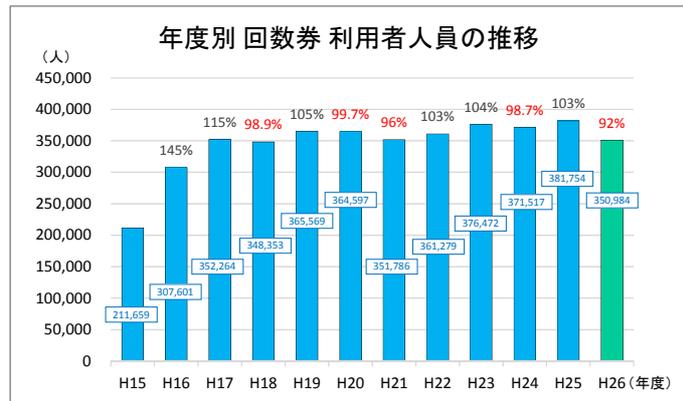


図- 年度別回数券利用人員推移

(4) 非日常利用人員の推移（フェニックス田原町ラインを除く）

非日常の利用人員の推移は平成21年度以降、横ばいで推移していましたが、平成25年度は10周年記念事業等により増加に転じています。

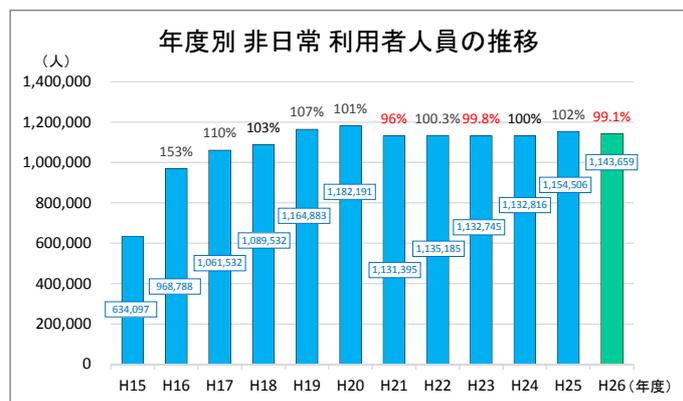
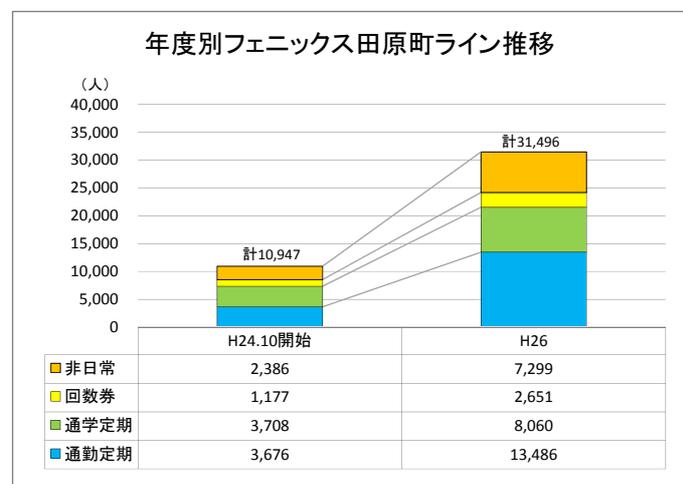


図- 年度別非日常利用人員推移

(5) フェニックス田原町ライン利用人員の推移

利便性向上と地域間交流の促進を目的に、平成24年10月1日から、三国芦原線と福井鉄道福武線との間で連絡運輸を開始しました。利用者層としては通勤定期が最も多く、次いで通学定期となっています。



(6) 路線別の利用人員の推移

三国芦原線利用人員の推移は、平成 21 年度に減少に転じたものの、全体的に増加傾向で推移しています。

勝山永平寺線利用人員の推移は、平成 21 年度以降、増減を繰り返しながら推移しています。

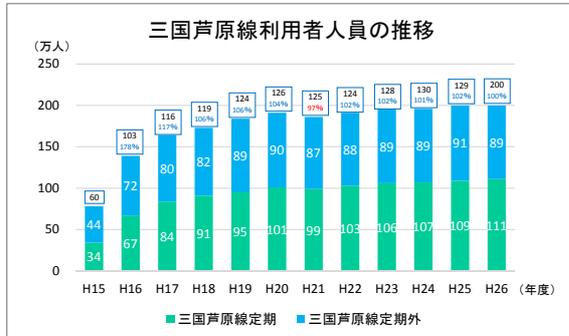


図- 三国芦原線 利用人員推移

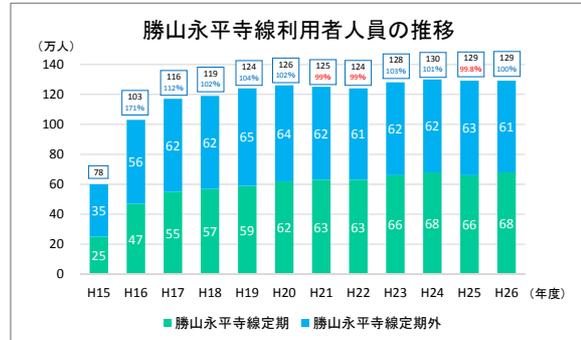


図- 勝山永平寺線 利用人員推移

(7) デマンドバス利用者の推移

テクノポート号は、継続的な営業活動により大幅に乗車人員が増加しました。

あおぞらくんは、平成 24 年度以降、減少傾向にあります。

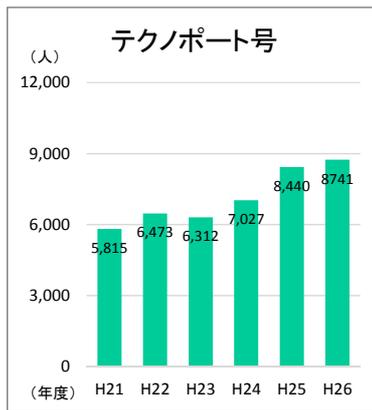


図- テクノポート号実績

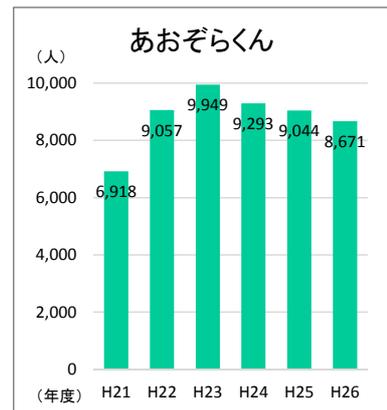


図- あおぞらくん実績

(8) えちてつサポーターズクラブ会員数の推移

サポーターズクラブの会員数は、平成 22 年度以降増加を維持し、平成 25 年度に一旦減少しましたが、平成 26 年度は増加に転じています。一方、サポーターズクラブ会員の利用者数の推移は、平成 23 年度以降、減少傾向にあります。

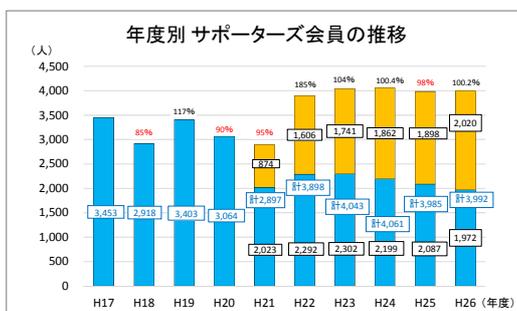


図- 年度別サポーターズクラブ会員の推移

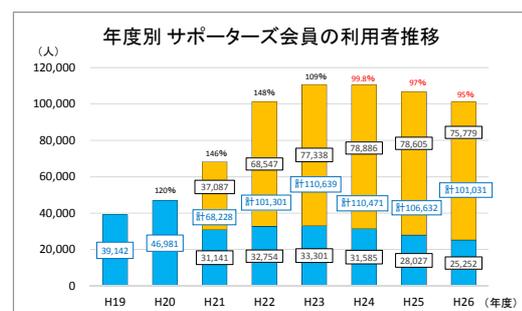


図-年度別サポーターズクラブ会員利用者の推移

※黄色色が65歳以上のゴールド会員、青色が一般会員

第3章 えちぜん鉄道交通圏におけるバス交通の状況

3-1 えちぜん鉄道交通圏におけるバス交通の状況

(1) 路線バスの状況と機能

路線バスは福井駅や三国駅前等、複数を拠点に放射状に路線が張り巡らされており、51 路線、112 系統のバスが運行されています。

1 系統の片道距離はさまざまですが、最も短い系統は約 2km、最も長い系統は約 40km、所要時間は最も短い時間で 10 分以内、最も長い時間で 1 時間以上となっています。

また、路線バスは日常生活に最も身近な公共交通であることから、地域生活を維持する路線や、広域的な都市を結ぶ幹線交通手段としての役割を担っています。

表-京福バスが運行するバス路線一覧（平成 26 年 4 月 1 日現在）

路線	系統	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準所 要時間 (分)	運行回数	支援区分	乗車密度 (OD)	輸送人員 (OD)
1	1	福井駅前	済生会病院 小和清水・朝倉 川上・大野駅前	ヴィオ	往 38.9 復 38.7	70 67	3.5	地域間幹線系統	4.8	669
	2	福井駅前	済生会病院 小和清水 花山・大野駅前	ヴィオ	往 37.9 復 37.7	66 65	17.0	地域間幹線系統		
2	3	福井駅前	荒木新保 小和清水	稲荷	往 37.5 復 37.5	66 64	4.0	広域生活バス路線	2.0	47
3	4	福井駅前	木田校前 羽水高校前	西大味	往 12.3 復 12.3	31 31	6.0	市町生活交通	1.8	48
4	5	福井駅前	東郷	浄教寺	往 15.9 復 15.9	32 34	3.5	市町生活交通	3.0	103
	6	福井駅前	東郷	鹿俣	往復 16.2	32	1.0	市町生活交通		
	7	福井駅前	小稲津	東郷	往 8.6 復 8.6	16 26	1.0	市町生活交通		
	8	福井駅前	東郷 浄教寺	鹿俣	往復 19.3	41	1.5	市町生活交通		
5	9	福井駅前	上北野一丁目	花野谷	往 10.4 復 9.1	26 26	5.0	市町生活交通	1.3	27
6	10	福井駅前	北野下 県立大学	福井 大学病院	往 13.8 復 13.1	35 35	4.0	広域生活バス路線	5.8	66
7	11	福井駅前	赤十字病院 プラント ³ 西田中	天王	往 21.5 復 21.4	50 47	3.0	地域間幹線系統	3.7	80
	12	天王	上系生	宿堂	往 11.6 復 11.6	17 19	1.5	広域生活バス路線		
	13	天王	上系生 宿堂	ハツ俣	往 26.6 復 26.6	45 45	1.0	広域生活バス路線		
8	14	福井駅前	柴崎 居倉	水仙ランド 入口	往 36.8 復 36.8	71 70	5.0	地域間幹線系統	6.3	163
9	15	福井駅前	本堂	清水畑	往 15.6 復 15.6	34 34	3.0	広域生活バス路線	4.8	150
	16	福井駅前	桜ヶ丘第2	福井 駅前	循 21.9	52	4.0	市町生活交通		
	17	福井駅前	金井学園前 本堂	団地入り口	往 11.8 復 11.8	30 26	1.0	市町生活交通		

路線	系統	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準所 要時間 (分)	運行回数	支援区分	乗車密度 (0D)	輸送人員 (0D)
10	18	福井駅前	佐野	小丹生	往 30.0 復 30.0	60 60	5.0	市町生活交通	7.8	560
	19	福井駅前	福井病院 佐野	小丹生	往 31.2 復 31.3	65 64	10.0	市町生活交通		
	20	福井駅前	西松本・佐野	小丹生	往 30.6 復 31.0	55 65	1.0	市町生活交通		
	21	福井駅前	掘の宮・三ツ屋	すかつと ランド 九頭竜	往 10.0 復	22	0.5	市町生活交通		
	22	福井駅前	掘の宮・三ツ屋	福井 総合病院	往 11.1 復	22	0.5			
11	23	三国駅前	米納津	和布	往 15.1 復 15.1	27 27	1.5	広域生活バス路線	1.3	43
	24	三国駅前	黒目	米納津上	往 7.6 復 7.6	14 14	1.5	市町生活交通		
	25	三国駅前	三国西小学校 米納津	和布	往 復 15.8	31	0.5	広域生活バス路線		
12	26	福井駅前	武道館前・砂子坂 福井総合病院	三国駅前	往 26.6 復 26.7	60 59	4.5	地域間幹線系統	5.7	353
	27	福井駅前	武道館前・砂子坂 総合病院・三国西校	三国駅前	往 28.2 復 27.5	63 61	1.5	地域間幹線系統		
	28	福井駅前	武道館前 砂子坂	三国駅前	往 25.6 復 25.6	52 55	2.5	地域間幹線系統		
13	29	池見	川崎	三国駅前	往 5.2 復	10	0.5	市町生活交通	1.0	66
	30	福井	春江西校 京福春江団地	三国駅前	往 22.7 復 22.7	50 49	3.5	広域生活バス路線		
14	31	三国駅前	楽円	木部東	往 6.0 復 6.0	13 13	4.0	市町生活交通	1.5	31
15	32	三国駅前	雄島小学校 浜地	三国駅前	循 11.6	27	2.0	市町生活交通	0.5	27
	33	三国駅前	浜地 雄島小学校	三国駅前	循 11.6	27	3.0	市町生活交通		
16	34	JR芦原 温泉駅	松島水族館 東尋坊 三国駅前	JR芦原 温泉駅	循 31.7	74	1.0	地域間幹線系統	2.6	196
	35	JR芦原 温泉駅	松島水族館 東尋坊・休暇村 三国駅前	JR芦原 温泉駅	循 32.7	76	1.0	地域間幹線系統		
	36	JR芦原 温泉駅	三国駅前 東尋坊・休暇村 松島水族館	JR芦原 温泉駅	循 32.7	76	1.0	地域間幹線系統		
	37	JR芦原 温泉駅	休暇村 松島水族館 東尋坊	三国駅前	往 21.4 復 21.4	50 50	9.5	地域間幹線系統		
	38	JR芦原 温泉駅	松島水族館 東尋坊	三国駅前	往 20.4 復 20.4	48 48	1.5	地域間幹線系統		
17	39	JR芦原 温泉駅	安光	本丸岡	往 10.3 復 10.3	20 20	3.0	広域生活バス路線	2.4	18
18	40	永平寺 口駅前	本丸岡	JR芦原 温泉駅	往 20.5 復 20.5	40 40	2.0	広域生活バス路線	2.1	100
	41	本丸岡	中川	JR芦原 温泉駅	往 10.9 復 10.9	20 20	2.5	広域生活バス路線		
	42	永平寺 門前	本丸岡	JR芦原 温泉駅	往 27.7 復 28.0	55 55	3.5	地域間幹線系統		
	43	永平寺 口駅前	JR芦原温泉駅	金津高校	往 21.7 復	44	0.5	広域生活バス路線		

路線	系統	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準所 要時間 (分)	運行回数	支援区分	乗車密度 (OD)	輸送人員 (OD)
19	44	永平寺	京善	永平寺 口駅前	往 7.2 復 7.2	12 12	15.5	市町生活交通	2.1	120
20	45	JR芦原 温泉駅	本荘	三国駅前	往 12.7 復 12.6	35 35	4.0	広域生活バス路線	2.0	23
21	46	芦原 ゆのまち	あわら病院	北潟 花菖蒲園	往 7.5 復 7.5	20 20	7.5	市町生活交通	0.4	13
22	47	福井駅前	町屋町 森田駅前 平章校前	本丸岡	往 14.9 復 14.2	36 38	7.0	地域間幹線系統	4.0	544
	48	福井駅前	町屋町 森田駅前	本丸岡	往 13.5 復 12.8	38 35	5.0	地域間幹線系統		
	49	福井駅前	明道校前 森田駅前 平章校前	本丸岡	往 14.9 復 14.9	39 39	8.0	地域間幹線系統		
	50	福井駅前	明道校前 森田駅前	本丸岡	往 13.5 復	38	7.0	地域間幹線系統		
	51	福井駅前	町屋町 森田 本丸岡	丸岡高校	往 14.6 復 14.4	44 46	3.0	地域間幹線系統		
23	52	福井駅前	県立病院 開発口 平章校	本丸岡	往 17.5 復 16.5	45 53	7.0	地域間幹線系統	3.4	227
	53	福井駅前	県立病院 開発口	本丸岡	往 16.1 復	45	5.0	地域間幹線系統		
24	54	J R丸岡	本丸岡 県立大学・大学病院 松岡駅	永平寺 口駅前	往 16.0 復 16.0	46 46	2.5	広域生活バス路線	1.6	80
	55	J R丸岡	本丸岡・丸岡南中学 県立大学・大学病院 グリーンセンター・松岡駅	永平寺 口駅前	往 17.9 復 17.9	51 51	4.5	広域生活バス路線		
25	56	本丸岡	霞の郷・与河	竹田	往 14.1 復 14.1	33 33	4.5	市町生活交通	1.6	34
	57	丸岡中学校前	本丸岡・霞の郷	竹田	往 14.1 復 14.1	38	0.5	市町生活交通		
26	58	福井駅前	県立病院	重立	往 8.9 復	28	1.0	市町生活交通	1.7	65
	59	福井駅前	県立病院 看護協会	重立	往 10.2 復 9.3	33 32	4.5	市町生活交通		
	60	福井駅前	新米松 盲学校前	重立	往 8.0 復	25	1.0	市町生活交通		
	61	福井駅前		看護 協会前	往 3.2 復	15	1.0			
	62	福井駅前	県立病院	看護 協会前	往 3.6 復	25	0.5			
27	63	ヴィオ	あっ宝んど 勝山駅前・ゆめおーれ	福井社会 保険病院	往 18.2 復 18.4	45 47	4.0	地域間幹線系統	4.2	205
	64	ヴィオ	勝山駅前	福井社会 保険病院	往 17.6 復 17.8	45 44	1.5	地域間幹線系統		
	65	福井社会 保険病院		坂東島	往 10.1 復 10.1	19 19	4.0	市町生活交通		
	66	ヴィオ	あっ宝んど 勝山駅前・勝山南校	福井社会 保険病院	往 18.2 復 18.4	46 48	3.0	地域間幹線系統		
28	67	勝山駅前	福井社会 保険病院	坂東島	往 16.4 復 16.4	37 38	1.0	市町生活交通	1.9	8
29	68	福井駅前	新田塚 県立大学	福井 大学病院	往 16.6 復 16.6	39 40	5.0	広域生活バス路線	2.8	65

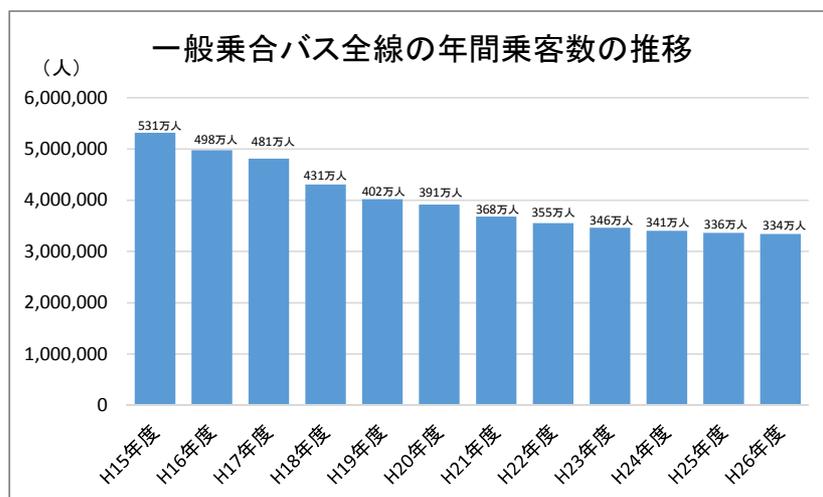
路線	系統	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準所 要時間 (分)	運行回数	支援区分	乗車密度 (OD)	輸送人員 (OD)
30	69	松岡駅	五松橋・下合月	福井 大学病院	往 2.2 復 2.2	6 5	7.5		2.5	58
	70	松岡駅	五松橋・下合月 福井大学病院	県立 大学	往 3.6 復 3.6	9	2.5			
31	71	大野三番		大矢戸	往 復 3.5	8	0.5	市町生活交通	4.1	26
	72	大野三番	小矢戸	大矢戸	往 4.5 復	12	0.5	市町生活交通		
	73	大野三番	大矢戸	小矢戸	往 復 4.7	13	0.5	市町生活交通		
32	74	福井駅前	県立病院 羽崎 県立大学	福井 大学病院	往 15.3 復 15.2	44 47	4.5	地域間幹線系統	6.0	302
	75	福井駅前	米松二丁目 羽崎 県立大学	福井 大学病院	往 14.5 復 14.4	34 50	1.5	地域間幹線系統		
	76	福井駅前	県立病院 開発口	福井 大学病院	往 14.2 復 14.2	43 45	7.5	地域間幹線系統		
33	77	福井駅前	松岡駅	福井 大学病院	往 11.8 復 11.8	28 28	0.5	地域間幹線系統	7.8	72
	78	福井駅前	松岡駅 福井大学病院	県立 大学	往 13.2 復 13.2	31 31	3.0	地域間幹線系統		
34	79	三国駅前	三国港 運動公園前	三国駅前	循 9.0	23	1.0	市町生活交通	0.8	14
	80	三国駅前	三国病院 運動公園前	三国 総合支所	循 11.6	37	2.0	市町生活交通		
	81	三国病院	三国駅前 運動公園前	三国駅前	循 11.4	38	3.0	市町生活交通		
35	82	福井駅前	運転者教育センター エンゼルランド	福井駅前	循 19.8	53	12.0	地域間幹線系統	3.0	238
36	83	福井駅前	赤十字病院	生部	往 12.5 復 12.5	38 39	2.0	市町生活交通	1.3	51
	84	福井駅前	赤十字病院 ベル前	生部	往 17.9 復 17.9	56 55	2.5	市町生活交通		
	85	足羽山 公園下	赤十字病院	ベル前	往 8.3 復 8.3	29 29	1.5	市町生活交通		
37	86	福井駅前	赤十字病院 ベル前 江森の里	エフエフ 福井	往 16.7 復 16.7	50 41	2.0	地域間幹線系統	1.8	82
	87	福井駅前	赤十字病院 ベル前 江森の里	シルバー 病院	往 16.5 復 16.5	41 40	4.0	地域間幹線系統		
38	88	福井駅前	福井大学前 新田塚 幾久	福井駅前	循 8.4	30	16.0		4.2	439
	89	福井駅前	幾久 新田塚 福井大学前	福井駅前	循 9.0	31	16.0			
39	90	福井駅前	日之出校前 八幡神社前 県立病院	松本車庫	往 3.8 復 3.8	16 17	2.5		4.4	28
40	91	福井駅前		済生会 病院	往 4.1 復 4.1	14 13	8.5		4.3	83
41	92	福井駅前	道守高校前 運動公園南口 花堂	福井駅前	循 13.4	40	48.0		4.9	1,551
	93	福井駅前	花堂 運動公園南口 道守高校前	福井駅前	循 13.4	40	48.0			
42	94	福井駅前	大名町 舟橋	高木北 三丁目	往 復 5.9	28	0.5		6.6	17

路線	系統	起 点	主な経過地	終 点	キロ程 (km)	標準所 要時間 (分)	運行回数	支援区分	乗車密度 (OD)	輸送人員 (OD)																																																																																																																																																																	
43	95	福井駅前	宮前町・高木中央	アピタ・エルバ前	往	7.9	24	12.5	4.8	193																																																																																																																																																																	
					復	7.4	24				44	96	福井駅前	菅谷町	福井駅前	循	8.5	28	41.0	9.3	970	97	福井駅前		金井学園前	往 復	2.8	7	1.5	45	98	福井駅前	町屋団地	心臓センター	往 復	5.2	23 24	10.0	2.2	87	99	福井駅前	町屋団地 フレンドタウン	心臓センター	往 復	5.5	25 26	46	100	福井駅前	木田校前 羽水高校前	県産業 会館	往 復	4.3	13	0.5	17.9	23	47	101	本多医院前	南四ツ居	福井駅前	往 復	5.3	15 13	1.0	市町生活交通	1.8	45	102	福井駅前	本多医院前 南四ツ居	福井駅前	循	8.5	28	3.0	市町生活交通	103	福井駅前	南四ツ居 本多医院前	福井駅前	循	8.5	28	2.0	市町生活交通	104	福井駅前	南四ツ居 問屋町二丁目	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通	105	福井駅前	問屋町二丁目 南四ツ居	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通	48	106	福井駅前	重藤町 新田塚	福井クリ ニック	往 復	4.5	22 21	2.0	5.9	261	107	福井駅前	重藤町 新田塚 福井総合クリニック	福井 総合病院	往 復	11.6	33 32	12.5	49	108	福井駅前	赤十字病院 みどり図書館前	清水 プラント3	往 復	14.1	43 39	22.5	地域間幹線系統	3.0	320	109	福井駅前	赤十字病院	清水 プラント3	往 復	13.1	45	0.5	地域間幹線系統	50	110	清水 プラント3	下糸生 大森	織田	往 復	16.6	30	0.5	広域生活バス路線	1.0	13	111	清水 プラント3	下糸生 大森 秦澄の杜	織田	往 復	18.8 18.2	38 35	2.0	広域生活バス路線	51	112	清水 プラント3	西田中
44	96	福井駅前	菅谷町	福井駅前	循	8.5	28	41.0	9.3	970																																																																																																																																																																	
	97	福井駅前		金井学園前	往 復	2.8	7				1.5	45	98	福井駅前	町屋団地	心臓センター	往 復	5.2	23 24	10.0	2.2	87	99	福井駅前	町屋団地 フレンドタウン	心臓センター	往 復	5.5	25 26	46	100	福井駅前	木田校前 羽水高校前	県産業 会館	往 復	4.3	13	0.5	17.9	23	47	101	本多医院前	南四ツ居	福井駅前	往 復	5.3	15 13	1.0	市町生活交通	1.8	45	102	福井駅前	本多医院前 南四ツ居	福井駅前	循	8.5		28	3.0	市町生活交通	103	福井駅前	南四ツ居 本多医院前	福井駅前	循	8.5			28	2.0	市町生活交通	104	福井駅前	南四ツ居 問屋町二丁目	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通	105	福井駅前	問屋町二丁目 南四ツ居	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通	48	106	福井駅前	重藤町 新田塚	福井クリ ニック	往 復	4.5	22 21	2.0	5.9	261	107	福井駅前	重藤町 新田塚 福井総合クリニック	福井 総合病院	往 復	11.6	33 32	12.5	49	108	福井駅前	赤十字病院 みどり図書館前	清水 プラント3	往 復	14.1	43 39	22.5	地域間幹線系統	3.0	320	109	福井駅前	赤十字病院	清水 プラント3	往 復	13.1	45	0.5	地域間幹線系統	50	110	清水 プラント3	下糸生 大森	織田	往 復	16.6	30	0.5	広域生活バス路線	1.0	13	111	清水 プラント3	下糸生 大森 秦澄の杜	織田	往 復	18.8 18.2	38 35	2.0	広域生活バス路線	51	112	清水 プラント3	西田中	天王	往 復	9.9	22 17	3.0	広域生活バス路線	1.4	15							
45	98	福井駅前	町屋団地	心臓センター	往 復	5.2	23 24	10.0	2.2	87																																																																																																																																																																	
	99	福井駅前	町屋団地 フレンドタウン	心臓センター	往 復	5.5	25 26				46	100	福井駅前	木田校前 羽水高校前	県産業 会館	往 復	4.3	13	0.5	17.9	23	47	101	本多医院前	南四ツ居	福井駅前	往 復	5.3	15 13	1.0	市町生活交通	1.8	45	102	福井駅前	本多医院前 南四ツ居	福井駅前	循	8.5	28		3.0	市町生活交通	103	福井駅前	南四ツ居 本多医院前	福井駅前	循	8.5	28			2.0	市町生活交通	104	福井駅前	南四ツ居 問屋町二丁目	福井駅前		循	9.7	35	2.0	市町生活交通	105	福井駅前	問屋町二丁目 南四ツ居	福井駅前			循	9.7	35	2.0	市町生活交通	48	106	福井駅前	重藤町 新田塚	福井クリ ニック	往 復	4.5	22 21	2.0	5.9	261	107	福井駅前	重藤町 新田塚 福井総合クリニック	福井 総合病院	往 復	11.6	33 32	12.5	49	108	福井駅前	赤十字病院 みどり図書館前	清水 プラント3	往 復	14.1	43 39	22.5	地域間幹線系統	3.0	320	109	福井駅前	赤十字病院	清水 プラント3	往 復	13.1	45	0.5	地域間幹線系統	50	110	清水 プラント3	下糸生 大森	織田	往 復	16.6	30	0.5	広域生活バス路線	1.0	13	111	清水 プラント3	下糸生 大森 秦澄の杜	織田	往 復	18.8 18.2	38 35	2.0	広域生活バス路線	51	112	清水 プラント3	西田中	天王	往 復	9.9	22 17	3.0	広域生活バス路線	1.4	15																							
46	100	福井駅前	木田校前 羽水高校前	県産業 会館	往 復	4.3	13	0.5	17.9	23																																																																																																																																																																	
47	101	本多医院前	南四ツ居	福井駅前	往 復	5.3	15 13	1.0	市町生活交通	1.8	45																																																																																																																																																																
	102	福井駅前	本多医院前 南四ツ居	福井駅前	循	8.5	28	3.0	市町生活交通																																																																																																																																																																		
	103	福井駅前	南四ツ居 本多医院前	福井駅前	循	8.5	28	2.0	市町生活交通																																																																																																																																																																		
	104	福井駅前	南四ツ居 問屋町二丁目	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通																																																																																																																																																																		
	105	福井駅前	問屋町二丁目 南四ツ居	福井駅前	循	9.7	35	2.0	市町生活交通																																																																																																																																																																		
48	106	福井駅前	重藤町 新田塚	福井クリ ニック	往 復	4.5	22 21	2.0	5.9	261																																																																																																																																																																	
	107	福井駅前	重藤町 新田塚 福井総合クリニック	福井 総合病院	往 復	11.6	33 32	12.5																																																																																																																																																																			
49	108	福井駅前	赤十字病院 みどり図書館前	清水 プラント3	往 復	14.1	43 39	22.5	地域間幹線系統	3.0	320																																																																																																																																																																
	109	福井駅前	赤十字病院	清水 プラント3	往 復	13.1	45	0.5	地域間幹線系統																																																																																																																																																																		
50	110	清水 プラント3	下糸生 大森	織田	往 復	16.6	30	0.5	広域生活バス路線	1.0	13																																																																																																																																																																
	111	清水 プラント3	下糸生 大森 秦澄の杜	織田	往 復	18.8 18.2	38 35	2.0	広域生活バス路線																																																																																																																																																																		
51	112	清水 プラント3	西田中	天王	往 復	9.9	22 17	3.0	広域生活バス路線	1.4	15																																																																																																																																																																

(2) 路線バスの乗降客数の状況

① 路線バスの乗降客数の推移

路線バスの乗車数は年々減少していますが、平成19年度以降は減少幅が緩やかになっています。



図一 6 市町を走る路線バスの年度毎の乗降客数の推移
出典：京福バス「運行系統別輸送実績報告書」(高速バス・コミュニティバス除く)

② バス接続駅の乗客数の推移

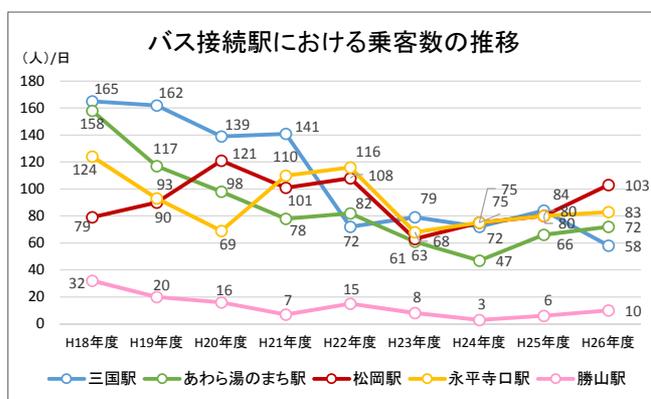
(調査日：毎年6月の第2または第3火曜・水曜・木曜のいずれか1日)

乗客数の推移は、勝山駅と福井駅を除いて増減を繰り返していますが、このうち「あわら湯のまち駅・松岡駅・永平寺口駅」では平成25年度以降、増加傾向にあります。

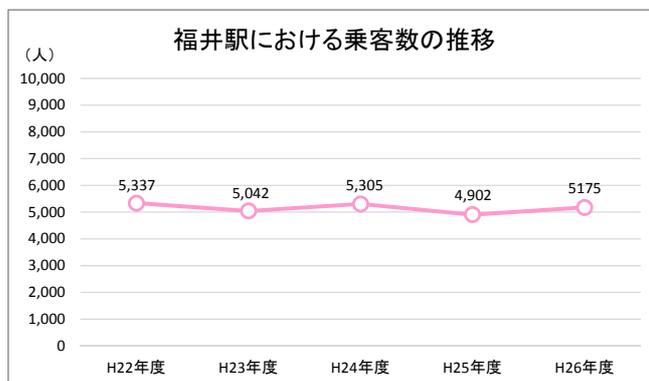
三国駅では1年毎に増減を繰り返し、平成26年度はやや大きく減少しています。

勝山駅では平成22年度以降、横ばい傾向で推移しています。

福井駅では5,000人前後の横ばいで推移しています。



図一 7 バス接続駅の乗客数の推移
出典：京福バス「OD調査」

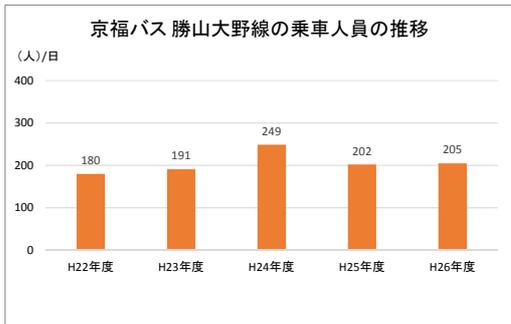


図一 8 福井駅の乗客数の推移
出典：「京福バスOD調査」

④ 鉄道駅と接続する京福路線バスの1日の乗車人員の推移

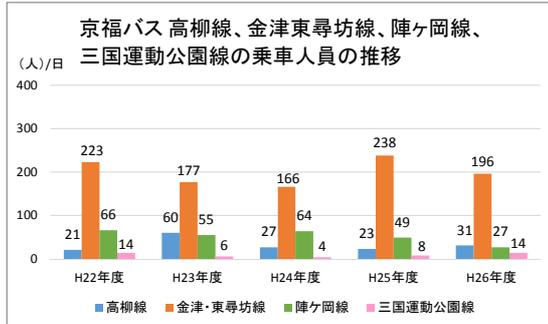
(調査日：毎年6月の第2または第3火曜・水曜・木曜のいずれか1日)

■勝山大野線 1日の乗車人員
(接続する鉄道駅：勝山駅)



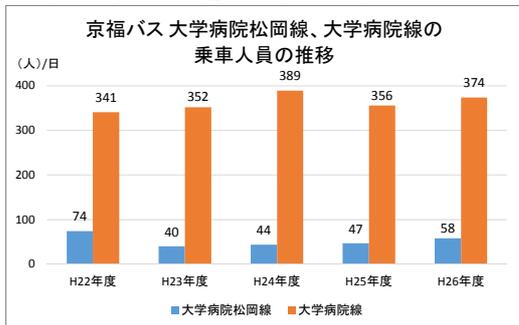
・平成24年度に一旦増加しましたが、200人前後の横ばいで推移しています。

■高柳線、金津東尋坊線、陣ヶ岡線、三国運動公園線 1日の乗車人員
(接続する鉄道駅：三国駅)



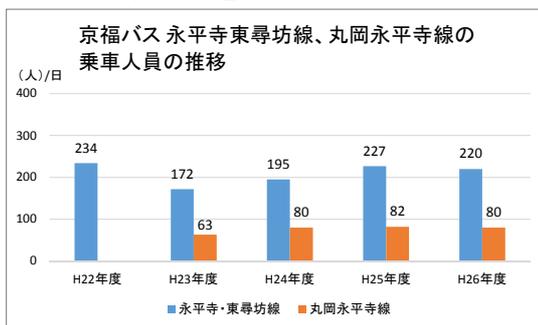
・4路線の中では陣ヶ岡線(循環)が減少しています。

■大学病院松岡線、大学病院線 1日の乗車人員
(接続する鉄道駅：松岡駅)



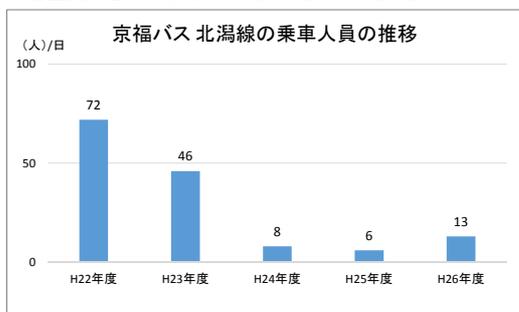
・大学病院松岡線、大学病院線とも横ばいで推移しています。

■永平寺東尋坊線、丸岡永平寺線 1日の乗車人員
(接続する鉄道駅：永平寺口駅)



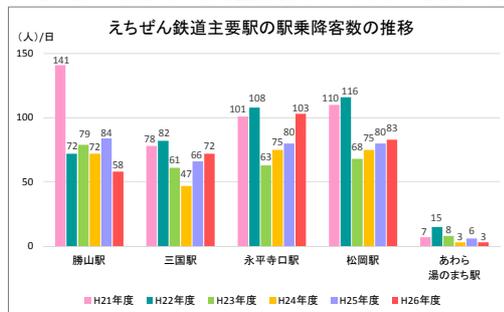
・永平寺東尋坊線、丸岡永平寺線とも横ばいで推移しています。

■北潟線 1日の乗車人員
(経由する鉄道駅：あわら湯のまち駅)



・平成24年度に急激に減少したものの、平成25年度以降は増加に転じています。

■(参考) えちぜん鉄道主要駅の駅乗降客数の推移



(3) 各市町が運行するコミュニティバス等の利用者数(乗車人員)の推移

①交通圏内を運行する各市町のコミュニティバス等一覧

名称・区分	系統名(方面)	接続駅 (300m以内)	運行方式	ダイヤ (便数/日)	料金/回	運行日	運行開始		
福井市	すまいるバス	田原・文京方面	福井・田原町	定路線固定ダイヤ	23便	100円	無休	H12.4.1	
		照手・足羽方面	福井	定路線固定ダイヤ	23便	100円	無休	H12.6.15	
		木田・板垣方面	福井	定路線固定ダイヤ	23便	100円	無休	H13.7.1	
		城東・日之出方面	福井	定路線固定ダイヤ	21便	100円	無休	H13.9.1	
乗合タクシー	高屋ルート	新田塚	定路線固定ダイヤ	6便	一般200円	月～土	H15.4.1		
	日新地域コミュニティバス	ハツ島日華化学前福大西餅	定路線固定ダイヤ	6便	一般100円	日祝	H24.11.5		
勝山市	コミュニティバス「ぐるりん」	越前大仏・平泉寺口方面	勝山	定路線固定ダイヤ	5便	100円	無休	H13.8.1	
		恐竜博物館・水芭蕉方面	勝山	定路線固定ダイヤ	6便	100円	無休	H13.8.1	
	乗合タクシー	野向線	勝山	部分デマンド固定ダイヤ	3便	100円区間と200円区間が混在	無休	H16.5.1	
		荒土線	勝山	部分デマンド固定ダイヤ	4便		無休	H16.5.1	
		北谷線	勝山	部分デマンド固定ダイヤ	5便		無休	H16.5.1	
		鹿谷線	勝山・発坂	定路線固定ダイヤ	4便		無休	H17.4.1	
		平泉寺線	勝山	部分デマンド固定ダイヤ	4便		無休	H19.10.1	
		遅羽線	勝山	部分デマンド固定ダイヤ	6便		無休	H20.10.1	
		北郷線	勝山	定路線固定ダイヤ	1便		無休	H21.10.1	
	市街地連絡線	勝山	デマンド	21便	100円	無休	H17.4.1		
市内観光バス	恐竜博物館方面	勝山	定路線固定ダイヤ	11便	100円 (1日フリー)	土日祝 春・夏休み	H26.4.1		
	平成寺・大仏方面	勝山	定路線固定ダイヤ	12便			H26.4.1		
あわら市	乗合タクシー	共通ブロック	あわら湯のまち・番田・本荘	デマンド	—	ブロック内+共通ブロック 一般1人600円、複数人の場合 一般1人300円 2ブロック間+共通ブロック 一般1人1200円、複数人の場合 一般1人600円	月～土	H24.4.1	
		第1ブロック		デマンド	—		月～土	H24.4.1	
		第2ブロック		デマンド	—		月～土	H24.4.1	
		第3ブロック		デマンド	—		月～土	H24.4.1	
坂井市	ぐるっと坂井	基幹 三国坂井ルート	三国・三国神社・大関・坂井	定路線固定ダイヤ	12便	一般200円	月～金	H21.9.1	
		基幹 丸岡春江ルート	西長田・西春江	定路線固定ダイヤ	12便			H21.9.1	
		接続 雄島ルート	三国港・三国・三国神社	定路線固定ダイヤ	3便			H21.9.1	
		接続 加戸・三国東部ルート	三国・三国神社	定路線固定ダイヤ	3便			H21.9.1	
		接続 浜四郷ルート	三国・三国神社	定路線固定ダイヤ	3便			H21.9.1	
		接続 坂井ルート	下兵庫・大関	定路線固定ダイヤ	3便			H21.9.1	
		接続 春江北部東部ルート	西長田・西春江	定路線固定ダイヤ	3便			H21.9.1	
接続 春江西部中部ルート	西春江・太郎丸	定路線固定ダイヤ	3便	H21.9.1					
永平寺町	松岡地区	松岡方面	松岡・観音町	定路線固定ダイヤ	4便	一般100円	月～土 一部 土日祝運休	H12.4.1	
		御陵方面	—	定路線固定ダイヤ	6便			H20.4.1	
		吉野方面	松岡	定路線固定ダイヤ	5便			H20.4.1	
	永平寺地区	永平寺口	定路線固定ダイヤ	11便	H13.9.1				
	上志比地区	越前竹原・山王・越前野中	定路線固定ダイヤ	不規則	H20.4.1				
大野市	まちなか循環バス	青バス	—	定路線固定ダイヤ	6便	一般100円	月～金 一部土日祝運休	H21.10.1	
		赤バス	—	定路線固定ダイヤ	5便			H21.10.1	
	乗合タクシー	森目・阪谷線	—	デマンド	4便	1人で乗車: 300-400円 2人以上での乗車は100円引	月～土	H22.10.4	
		大矢戸・乾側線	—	デマンド	4便			月～土	H22.10.4
		友兼・藤生線	—	デマンド	4便			月～土	H22.10.4
		小山・木本堀兼線	—	デマンド	4便			月～土	H22.10.4
	市営バス	白山線	—	部分デマンド固定ダイヤ	2便	最高800円	4/20-11/20	S50.10.4	
		中竜線	—	一部デマンド固定ダイヤ	9便	100円	4/1-12/31	S62.4.1	
前坂線		—	一部デマンド固定ダイヤ	8便	100円	4/1-12/31	S62.4.1		
和泉線		—	定路線固定ダイヤ	2便	最高800円	月～金	H14.4.1		

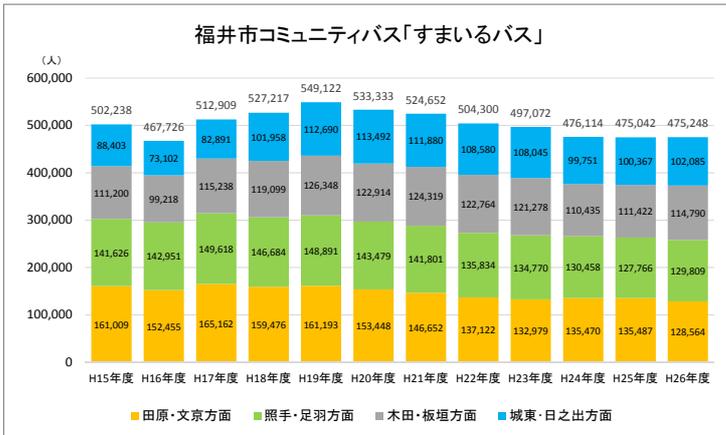
※福井市内を運行する生活バスは、えちぜん鉄道各駅に接続する路線を掲載しています。

※運行日: 年末年始が運休の路線があります。

※運賃: 一般・子ども・高齢者・障がい者によって料金体系が異なる路線があります。

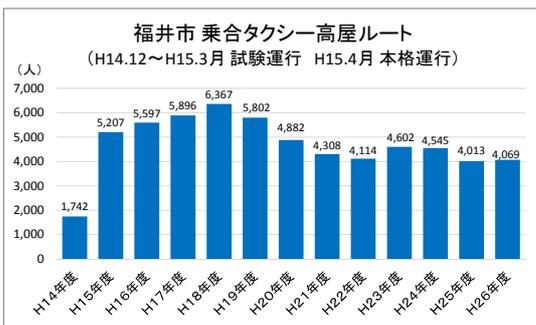
《部分デマンド》
一路線の中に予約運行区間がある
《一部デマンド》
特定の便の利用に予約が必要

【福井市】

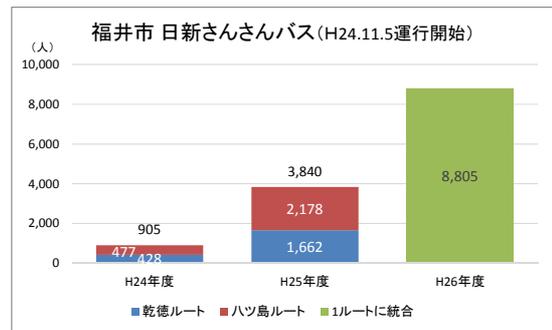


- ・すまいるバスは「福井駅」に接続しています。
- ・乗車人員は平成 20 年以降減少傾向が続き、平成 24 年度からは約 47 万人台で推移しています。
- ・平成 19 年度の乗車人員を 100 とした場合の指数の推移をみると、「田原・文京方面」の乗車人員の減少が大きくなっています。

	田原・文京方面		照手・足羽方面		木田・板垣方面		城東・日之出方面	
	乗車人員	指数	乗車人員	指数	乗車人員	指数	乗車人員	指数
H15年度	161,009		141,626		111,200		88,403	
H16年度	152,455		142,951		99,218		73,102	
H17年度	165,162		149,618		115,238		82,891	
H18年度	159,476		146,684		119,099		101,958	
H19年度	161,193	100	148,891	100	126,348	100	112,690	100
H20年度	153,448	95.2	143,479	96.4	122,914	97.3	113,492	100.7
H21年度	146,652	91.0	141,801	95.2	124,319	98.4	111,880	99.3
H22年度	137,122	85.1	135,834	91.2	122,764	97.2	108,580	96.4
H23年度	132,979	82.5	134,770	90.5	121,278	96.0	108,045	95.9
H24年度	135,470	84.0	130,458	87.6	110,435	87.4	99,751	88.5
H25年度	135,487	84.1	127,766	85.8	111,422	88.2	100,367	89.1
H26年度	128,564	79.8	129,809	87.2	114,790	90.9	102,085	90.6



- ・乗合タクシー高屋ルートは、えちぜん鉄道「新田塚駅」に接続しています。
- ・乗車人員は増減を繰り返していますが、平成 20 年度以降は 4,000 人台で推移しています。



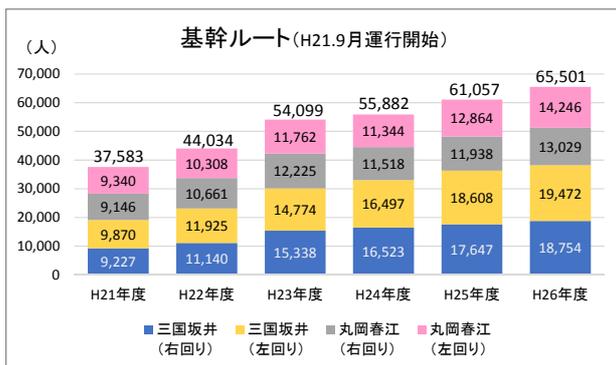
- ・日新さんさんバスは、えちぜん鉄道「八ツ島駅・日華化学前駅・福大前西福井駅」に接続しています。
- ・乗車人員は平成 25 年度から平成 26 年度にかけて倍増しています。

市民ニーズの総括 (平成 20 年度 福井市市民意識調査より)

公共交通の新たな利用者となる潜在ニーズがある

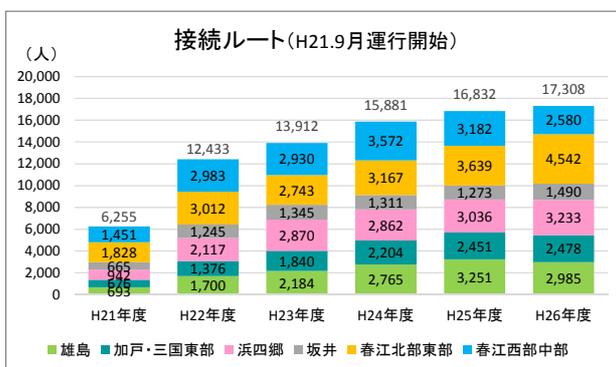
- ・バスや鉄道を割安に利用できれば運転免許を返納してもよい (27.4%)
- ・駅やバス停の充実など、利用環境が向上すれば乗継いでも公共交通を利用したい (57.6%)

【坂井市】



《基幹ルート》

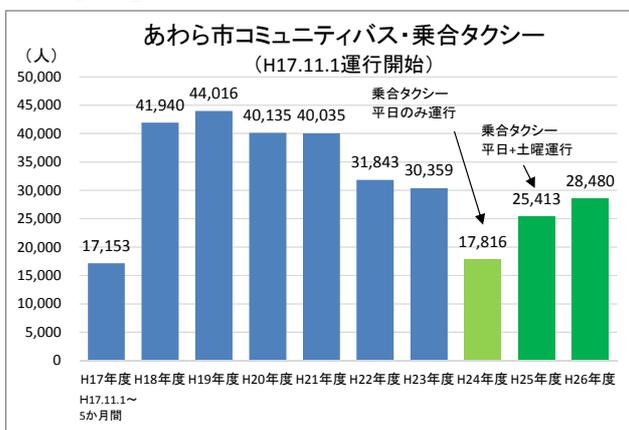
- 三国坂井ルートは「三国駅前駅・大関駅・下兵庫駅」に接続しています。
- 丸岡春江ルートは「西春江駅・西長田駅」に接続しています。
- 全体の乗車人員は増加しており、三国坂井ルートの伸びが大きくなっています。



《接続ルート》

- 雄島ルート、加戸・三国東部ルート、浜四郷ルートは「三国駅前駅」、坂井ルートは「下兵庫駅・大関駅」春江北部東部ルートは「西春江駅・西長田駅」、春江西部中部ルートは「西春江」にそれぞれ接続しています。
- 全体の乗車人員は増加しており、春江北部東部ルートの伸びが大きくなっています。

【あわら市】

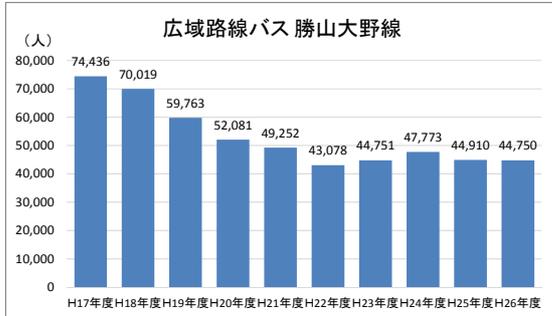


- コミュニティバスの乗車人員は、運行見直しを行いましたが増加傾向となっています。
- 平成24年度から乗合タクシーに運行体系を見直したため、一時的に減少しましたが、翌年には増加に転じています。

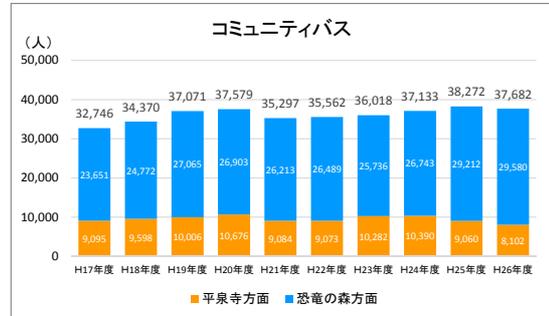
- あわら市では平成17年度から運行していたコミュニティバスの運行体系を、平成24年度に大きく見直しました。
- 市内を4つのブロック(共通ブロック・第1ブロック～第3ブロック)に分け、ブロックの移動方法と乗車人数で料金が変わります。
- 利用するには登録申請を行い登録証が必要になります。
- 運行時間は8時～17時で、この時間内で予約したバス停(314か所)の区間を乗降できます。

【勝山市】

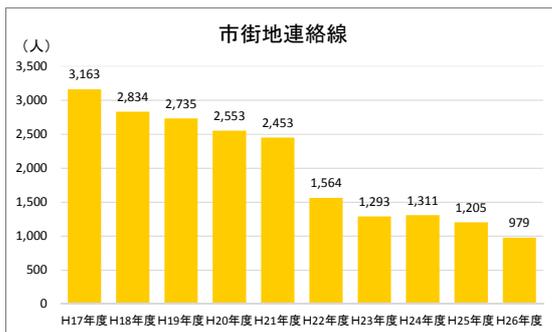
- ・全路線のバスが「勝山駅」に接続しています。
- ・鹿谷線は勝山駅のほかに「発坂駅」にも接続しています。



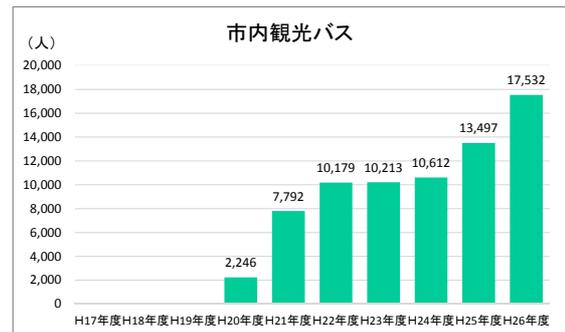
- ・路線バスは減少傾向が続いているものの、平成 22 年度以降は、横ばいで推移しています。



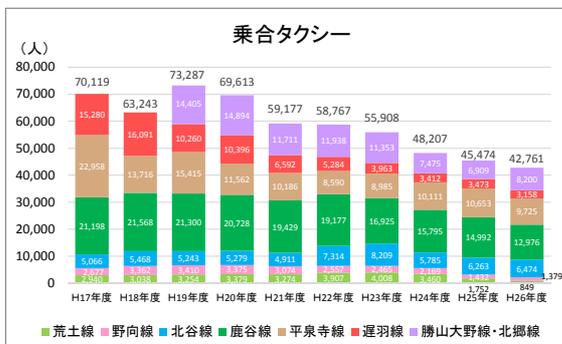
- ・恐竜の森方面は横ばいで推移しており、平泉寺方面は平成 25 年度以降、減少傾向にあります。



- ・市街地連絡線は平成 22 年度に大きく減少し、その後漸減傾向が続いています。

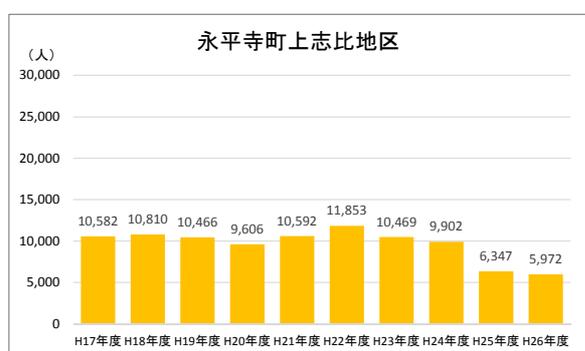
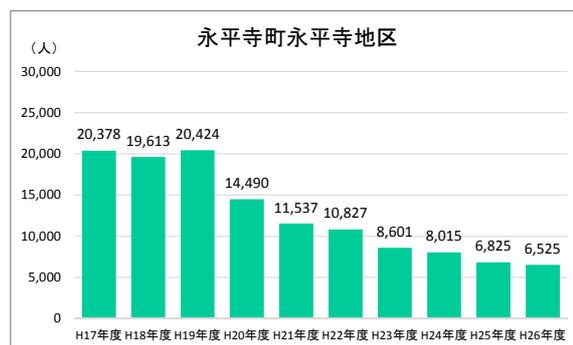
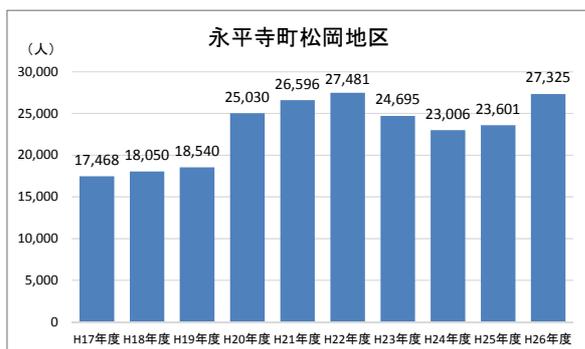


- ・市内観光バスは横ばいで推移していましたが、平成 25 年度以降、大きな増加が続いています。



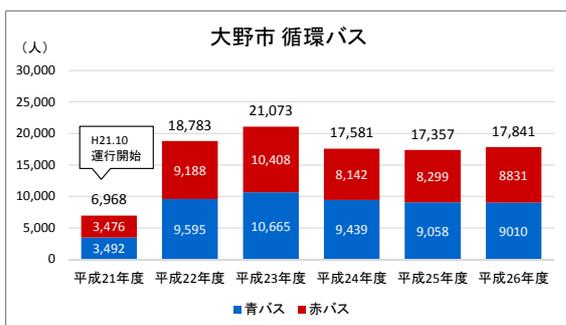
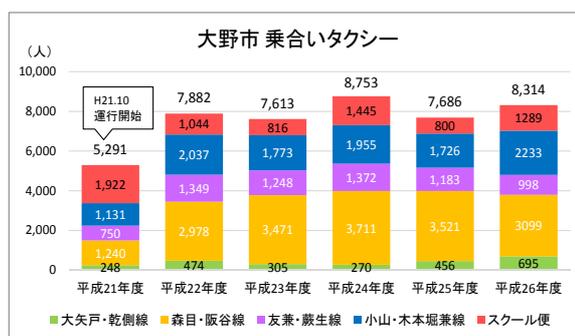
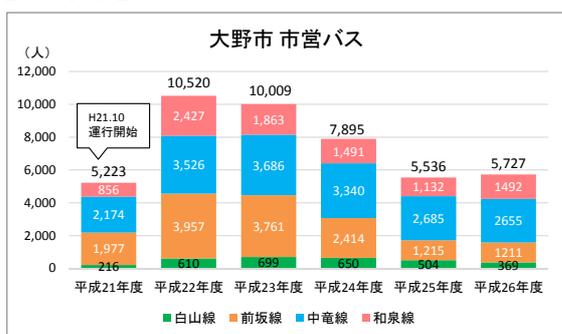
- ・乗合タクシーは全体的に減少が続いています。
- ・特に「荒土線」が著しく減少しています。
- ・平成 19 年度と平成 26 年度を比べると、「荒土線」「遅羽線」「野向線」の 3 路線が大きく減少しています。
- ・一方、「北谷線」は増加傾向にあります。

【永平寺町】



- ・松岡地区では「松岡駅」、永平寺地区では「永平寺口駅」、上志比地区では「越前竹原駅・山王駅」にそれぞれ接続しています。
- ・乗車人員は全体的に減少しています。
- ・なかでも永平寺地区の減少が大きくなっています。
- ・上志比地区では平成 25 年度に大きく減少しています。

【大野市】



- ・大野市は路線バス「勝山大野線」がえちぜん鉄道勝山駅と接続しています。
- ・市営バスは減少傾向が続き、平成 25 年度からは横ばいとなっています。
- ・乗合タクシーは増加傾向にあります。大矢戸・乾側線や小山・木本堀兼線で利用者が増加しています。
- ・循環バスは平成 24 年度から横ばいで続いています。

第4章 えちぜん鉄道交通圏における公共交通の課題

(1) 課題の整理

ここでは交通圏市町の地域状況、えちぜん鉄道交通圏の状況、えちぜん鉄道の状況、えちぜん鉄道交通圏におけるバス交通の状況から、本計画において対応すべき課題を整理します。

① 利用環境

公共交通にアクセスする利用環境が未整備

- ・一部の鉄道駅では階段や段差によって利用しにくい状況が見られることから、スムーズな移動を確保するためにもバリアフリーに向けた改善が必要
- ・観光地を有する一部の鉄道駅では、周辺を案内する看板やサイン整備が充実していないことから、観光地の魅力が向上するような環境整備が必要
- ・冬期間の公共交通への乗換え需要や観光を含めた移動を確保するため、駅やバス停、周辺道路を含めた除雪体制が必要

鉄道駅やバス停での待合環境が未整備

- ・公共交通の利用は快適な待合い環境が必要
- ・雨や雪でも快適に待てるように、ホームに屋根の設置が必要

携帯電話等による手軽に入手できる情報環境が未整備

- ・携帯電話の普及率が高くなっていることから、SNSを活用した最新情報の提供や、スマートフォン等を活用して生活情報・観光情報・交通情報を提供できる環境整備が必要
- ・バスの運行は道路事情や天候により定時性の確保が難しいため、バスロケーションシステムを整備し、バスの接近情報や到着予測時刻等の情報による待ち時間の不安の解消が必要

② 交通基盤

軌道や設備の老朽化

- ・老朽化した設備の更新が必要

③ まちづくりとの連携

中心市街地における高齢化と人口減少、商業・業務施設の空洞化への対応

- ・都市の人口減少や高齢化が急激に進展していくと考えられることから、都市経営コストの小さな暮らしやすいまちづくりへの取り組みが必要
- ・集約型のまちづくりに向けて、駅周辺や公共交通沿線への住宅・事業所・公共施設の立地誘導が必要

将来の北陸新幹線開業を見据えた公共交通網が未整備

- ・ 福井県内の北陸新幹線の開業に向けて、首都圏や外国等からの観光客が公共交通を便利に利用できるように、幹線交通とフィーダー交通の利便性向上が必要
- ・ 鉄道とバスが連携した観光企画をさらに発展させるため、夏休み期間中の子どもに焦点を当てた割引切符等の導入検討が必要
- ・ 福井県では鉄道や路線バスで使える交通系 I C カードが導入されていないため、北陸新幹線開業に向けて導入の検討が必要

過度に車に依存した観光まちづくりからの脱却

- ・ 福井県の観光客が増加する一方で、観光に利用できる公共交通のサービスが不十分であることから、鉄道やバスを乗り継いで観光できる交通環境が必要
- ・ 公共交通を利用した魅力的な観光を楽しんでもらうために企画バスや企画電車等の充実が必要
- ・ 観光施設や交流施設が鉄道やバス沿線に多数立地していることから、公共交通・観光・まちづくりと連携した観光の推進が必要

公共交通と連携した自転車利用の環境が未整備

- ・ 公共交通を利用したまちなか観光を推進するため、公共交通とレンタサイクルの相互利用の充実が必要
- ・ 自宅と駅やバス停、駅やバス停から事業所等へのアクセスの利便性を確保するため、自転車の貸出や駐輪場の整備が必要

④ 住民との協働**通勤・通学利用に向けた継続的な啓発**

- ・ 大規模事業所や大学・高校が鉄道駅やバス路線沿線に多数立地することから、企業や学生を対象に、公共交通の利用促進に向けた啓発が必要

CO₂排出量の抑制が不十分

- ・ 環境負荷の軽減に向けて、過度に車に依存した生活から公共交通の利用促進に向けた取り組みが必要

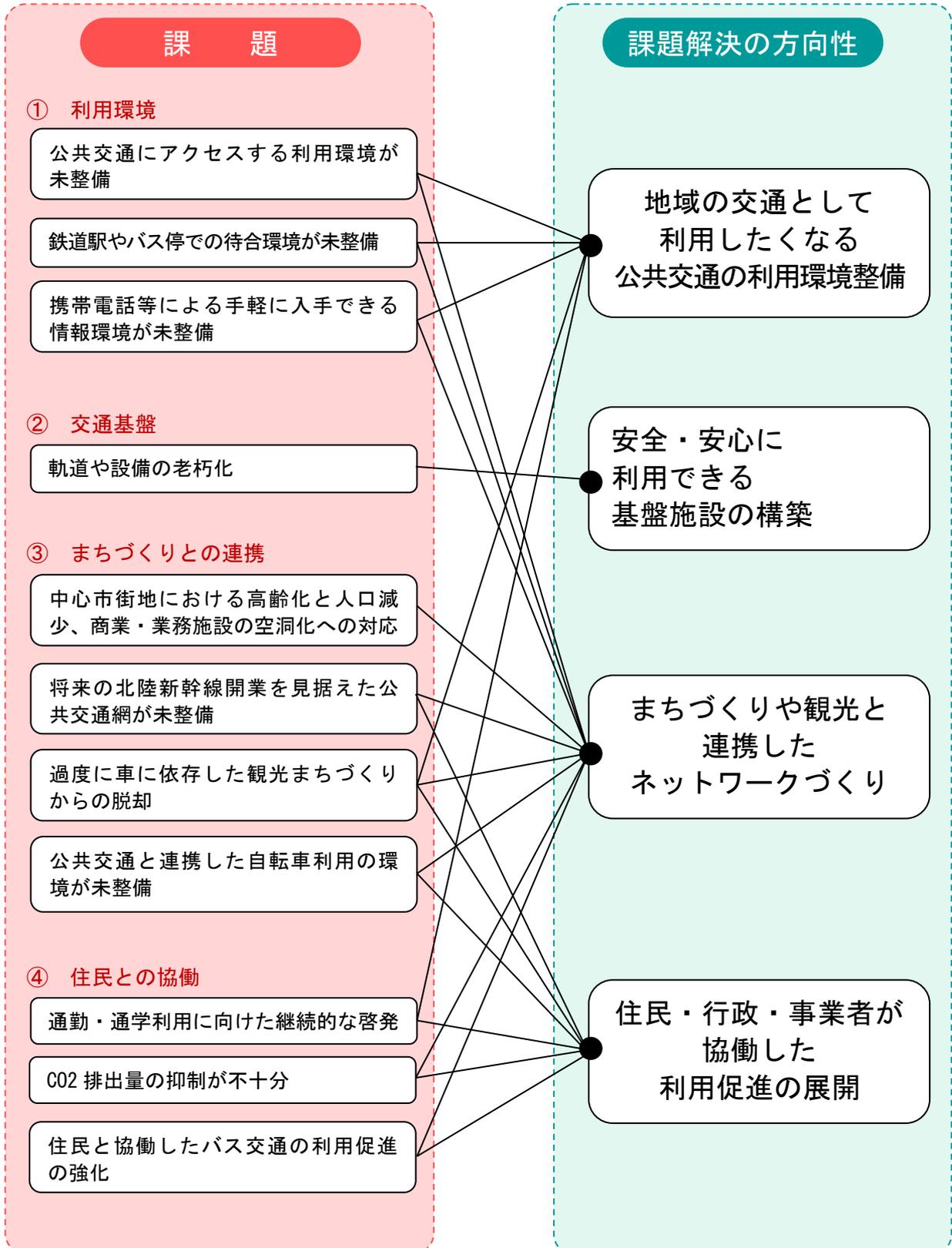
住民と協働したバス交通の利用促進の強化

- ・ 路線バスや地域のコミュニティバスは住民の生活に密着した交通手段であるため、住民と協働した利用促進への取組が必要

(2) 課題解決に向けた方向性

前頁で整理した課題について施策の体系ごとに分類すると、下図のとおりになります。

今後、課題の解決に向けて、施策の実施に取り組むとともに、ICカードの導入やCO₂排出抑制に向けて引き続き検討を行います。



第5章 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

5-1 えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画

(1) 基本方針

えちぜん鉄道は、嶺北の東西方向の骨格を形成する幹線交通として、勝山市・永平寺町・福井市・坂井市・あわら市の5市町 53km を線路でつなぎ、地域の歴史、文化、観光資源もつないでいます。また鉄道の主要駅ではフィーダー交通が幹線交通と接続され、公共交通によって「人・まち・暮らし」がつながっています。

しかしながら交通圏内の居住人口の減少が顕著になる一方、観光による交流人口は増加し、北陸新幹線の開業により観光客はさらに増加すると考えられます。これらに対応するため、これまでのまちづくりや交通体系のあり方を大きく転換し、公共交通を中心とした土地利用の誘導やコンパクト化、公共交通網によるネットワークの形成が重要になります。

また公共交通のネットワークによる広域性・利便性・速達性を今後も維持していくために、行政や交通事業者は日常・非日常利用者の目線に立ってニーズに応え、市民（利用者）は高頻度の乗車により利便性やサービス水準を高め、乗って維持し、乗って不便を解消する事が大切です。

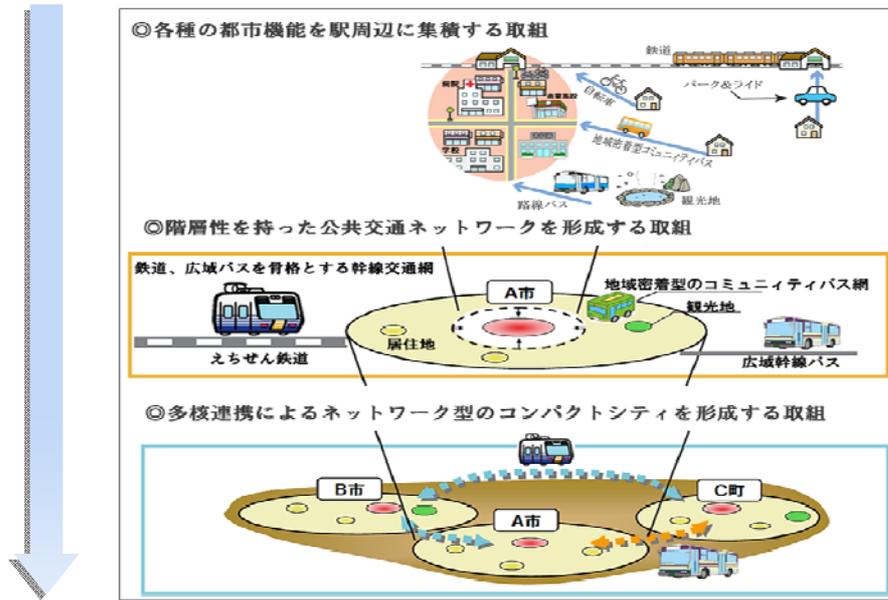
本計画の策定及び実施にあたっては、これまでの地域の成り立ちや社会基盤整備の状況を十分に踏まえ、沿線都市の地域拠点(核)をえちぜん鉄道で結ぶ「多核連携によるネットワーク型のコンパクトシティ」により、移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指します。

その形成に当たっては、沿線都市が既存のコミュニティや地域特性を踏まえた上で、各種の都市機能を駅周辺に集積することに努力し、それらの地域拠点を公共交通でつなぐことを基本方針とします。

また沿線都市が、えちぜん鉄道や広域幹線バスを骨格とする幹線交通網から日常生活に密着した地域のコミュニティバス網に至る、階層性を持った公共交通ネットワークを形成することで、拠点間の円滑な移動を確保します。

これらの「拠点化」と「ネットワーク化」を推進することにより、えちぜん鉄道交通圏は、距離的には広域であっても、スムーズな移動の確保によりコンパクトなエリアとして機能し、さらに「市民生活の質の向上」や「観光客の利便性」を高めます。

《都市機能の集積による拠点化と公共交通ネットワークのイメージ》



《市民生活の質を高めるまちづくりのイメージ》

通勤通学、通院、買物の移動を便利で快適にするため、えちぜん鉄道(幹線)とバス(路線バス・コミュニティバス)によるフィーダー(支線)交通を連携させることで移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりを進めます。

また待合環境の改善にも取組み、乗継ぎや待ち時間の抵抗感を軽減することで、車と比べても鉄道やバスが選択されるような公共交通圏域を形成します。



《観光客の利便性を高めるまちづくりのイメージ》

えちぜん鉄道沿線には、足羽河原の桜並木(福井市)や東尋坊(坂井市)をはじめとする四季折々の自然が楽しめる観光スポットや、恐竜博物館(勝山市)・あわら温泉(あわら市)・大本山永平寺(永平寺町)・越前大野城(大野市)をはじめとする観光施設が点在しています。これらの観光施設を鉄道やバスでつなぎ、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを進めます。



《拠点化とネットワーク化のイメージ》

- ・ えちぜん鉄道は広域幹線軸として、都市間を安定的に密接につなぎます。
- ・ 福井駅はえちぜん鉄道・福井鉄道・JR・新幹線・バスが結節する総合的な拠点として、公共交通網の中心的な役割を担います。
- ・ 鉄道の主要拠点駅(勝山・永平寺口・松岡・福井・田原町・西長田・あわら湯のまち・三国)では、買い物・病院・行政サービス等の生活利便施設を集積させることで都市機能サービスを受けられ、便利で快適な生活につなげます。
- ・ フィーダー交通は鉄道の主要拠点駅を中心に、自宅・学校や職場・観光地等をつなぎます。
- ・ またフィーダーバスの拠点として、幹線バスで既存市街地を結ぶことによって、鉄道駅から離れた市街地においても、鉄道の利便性を高めます。
- ・ 鉄道各駅においては、コミュニティバス等との乗り継ぎ利便性を高めることで、快適な移動につなげます。



(2) 計画の期間

「平成27年度から平成33年度までの7年間」

えちぜん鉄道の前身である京福電鉄の存続問題にあたり、鉄道沿線5市町では、「鉄道は地域住民の日常生活を支え、地域活性化やまちづくりの観点から重要な社会基盤である」と意思を表明し、第3セクター方式でえちぜん鉄道が設立しました。

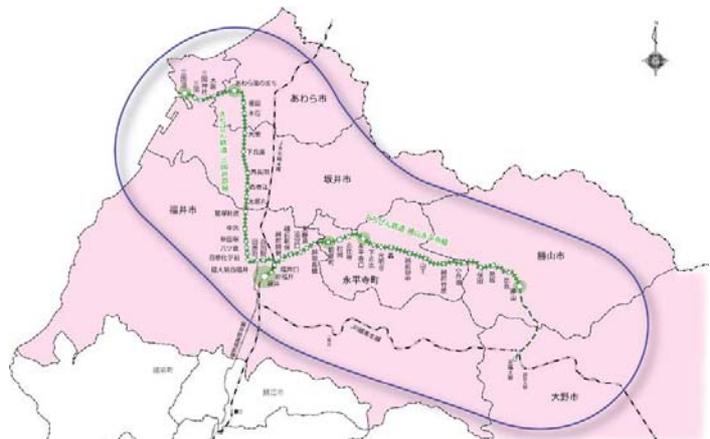
同時に鉄道を正常に運行させるための長期的な支援方針が示され、発足10年間のスキームとして平成14年度～平成23年度の長期的支援を行い、さらに新スキームとして、鉄道を末永く次世代に引き継ぐために、えちぜん鉄道を地域の発展を支える「生活関連社会資本」と位置づけ、平成24年度～平成33年度の10年間の継続した支援が決まっています。

本計画の計画期間は、この新スキームとの整合を図るため、平成33年までの7年間とします。

(3) 計画の区域

計画区域は、えちぜん鉄道交通圏とします。

えちぜん鉄道交通圏とは、えちぜん鉄道とバス路線網を有機的に結合することで都市の発展が期待できる交通領域で、福井市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、大野市に及ぶエリアとします。



図一 計画の区域

(4) 計画の目標

えちぜん鉄道は「地域の発展と日々の暮らしを支える生活関連社会資本」として沿線都市のまちづくりにとって大きな役割を担っていますが、今後は移動の快適性を向上させ、市民や観光客の満足度を高め、車と比べても『選ばれる移動手段』にならなければなりません。

そのために、路線バスや地域密着型のコミュニティバス等を連携させ、公共交通網をネットワーク化することで移動の利便性が高く、車に頼り過ぎなくても暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指します。

目指すべき公共交通の将来像

「車と比べても『選ばれる移動手段』になる」

- 目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現
- 目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現
- 目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現
- 目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

5-2 目標を達成するために行う事業及びその実施主体等

(1) 目標達成に向けた施策体系

目指すべき将来像の実現に向けて取り組むべき施策を4つにまとめ、それぞれにおいて実施すべき具体的な取組みは以下のとおりです。

目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

快適な駅施設の整備、駅やバス停へのアクセス向上、他交通機関との接続向上を進め、「地域の交通として利用したくなる公共交通」を目指します。具体的には以下のような施策を展開します。

- A 利用環境の向上 (2 施策)
- B 駅やバス停へのアクセス向上 (10 施策)
- C 交通機関の乗り継ぎ利便性向上 (3 施策)

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

計画的な鉄道施設への設備投資や維持修繕、路線バスへの運行支援を行い、「安全・安心に利用できる公共交通」を目指します。具体的には以下のような施策を展開します。

- D 安心・安全を支える鉄道施設づくり (2 施策)
- E 信頼できる運行を支える鉄道施設づくり (1 施策)
- F バス路線の維持 (1 施策)

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

主要拠点駅を核としたまちづくり、沿線の観光施設等との連携を進め、「車に頼らないまちづくりや広域観光と連携した公共交通」を目指します。具体的には以下のような施策を展開します。

- G 駅を核としたまちづくり (9 施策)
- H 観光・地域活性化施策との連携 (8 施策)
- I 情報発信の連携・強化 (7 施策)

目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

行政や事業者だけでなく、利用者也一体となって、公共交通への意識を高め、利用促進につなげるための取組を行う「住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通」を目指します。具体的には以下のような施策を展開します。

- J 乗る運動・利用促進 (8 施策)
- K 地域住民との連携 (4 施策)

(2) 個別施策の実施主体及びスケジュール

目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

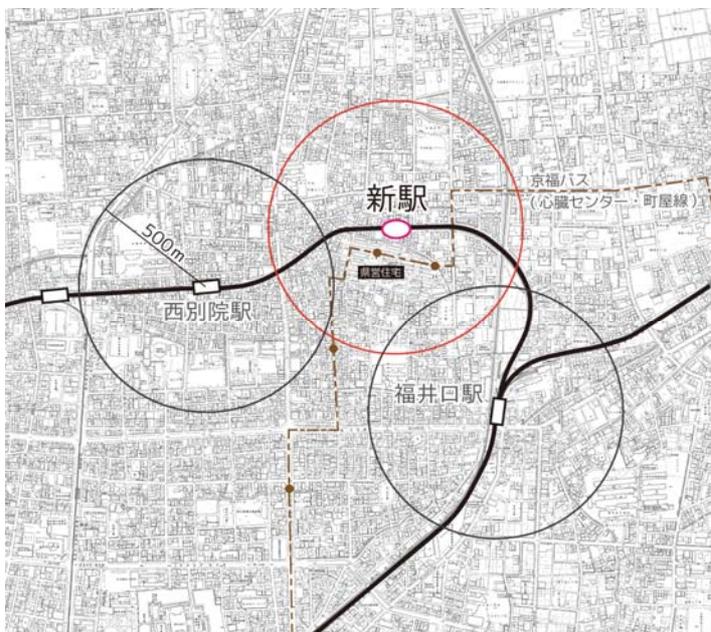
- A 利用環境の向上 (2 施策)
- B 駅やバス停へのアクセス向上 (10 施策)
- C 交通機関の乗り継ぎ利便性向上 (3 施策)

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33
A 利用環境の向上											
1	駅施設の整備改善	トイレ整備 ホーム・構内の整備、改善 待合環境の整備 付帯施設の整備	水洗化 バリアフリー化 段差解消 手摺設置 点字ブ ロック整備 待合室整備 ホーム屋根設置 自転車駐輪場 P&R駐車場	えちぜん鉄道・ 沿線全市町	—————▶						
2	利便性向上のための駅施設整備	新駅の設置	新駅の設置 (福井口駅～西別院間)	えちぜん鉄道・ 福井市	▶						

実施中の事業 —▶
検討・調整中の事業 - - -▶

《新駅設置について》

■えちぜん鉄道の利便性の向上および福井駅を中心とする市街地の交流人口増大による活性化を図るため、市街地内で最も駅間距離が長く、公共交通の利便性が低い地区になっている福井口駅～西別院駅間に新駅を設置します。



▲新駅周辺 (線路北側から西をみる)
(出典: Google マップ)



▲新駅周辺 (線路南側から西をみる)
(出典: Google マップ)

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33	
B 駅やバス停へのアクセス向上												
3	周辺道路等の改善	除雪・排雪体制の整備	P&R駐車場の除雪 並行道路の除雪 交差道路の除排雪の調整	沿線全市町・ 福井県・ えちぜん鉄道・ バス事業者	→	→	→	→	→	→	→	
4	利便性向上のためのバス施設整備	田原町駅へのバス停新設及び待合所新設	停留所施設、待合環境の整備	バス事業者・ 福井市	→	→	→	→	→	→	→	
5	サービス提供の充実	福井駅交通広場開業に合わせたバスロケーションシステムの導入	GPSを活用した高精度の位置情報や、沿線の観光情報等をバス乗り場の大型モニターで提供	福井市・ バス事業者	→	→	→	→	→	→	→	
6	携帯端末への情報発信	広域でバスの位置がわかるバスナビゲーションシステムの導入	GPSを活用した高精度の位置情報を携帯端末を通じて提供	沿線全市町・ 福井県・ バス事業者	→	→	→	→	→	→	→	
7	フィーダー交通の整備・充実	コミュニティバスの機能確保とサービスの向上	ダイヤ調整等による接続改善 ルート見直し	坂井市	→	→	→	→	→	→	→	
8				勝山市	→	→	→	→	→	→	→	→
9				永平寺町	→	→	→	→	→	→	→	→
10				大野市	→	→	→	→	→	→	→	→
11				福井市	→	→	→	→	→	→	→	→
12	サインの充実	三国駅への誘導、観光地への誘導サイン等の充実	誘導サイン、案内サイン、解説サイン等を新幹線福井開業に向けて整備	坂井市	→	→	→	→	→	→		
C 交通機関の乗り継ぎ利便性向上												
13	他交通機関との接続向上	福井鉄道との相互乗入れ	ダイヤ調整、乗継運賃 乗り入れ施設の整備と運行 車両の増強	えちぜん鉄道・ 福井県・沿線全市町	→	→	→	→	→	→	→	
14	福井駅西口駅前交通広場整備	駅前交通広場の整備	バス・タクシー乗降場整備による 鉄道との交通結節機能の向上	福井市	→	→	→	→	→	→	→	
15	列車運行の改善	運行時間帯、JRダイヤ改正時における接続確保 所要時間の改善	始発・終発時刻の改善 快速列車の運行等	えちぜん鉄道・ 沿線全市町	→	→	→	→	→	→	→	

実施中の事業 →
検討・調整中の事業 →



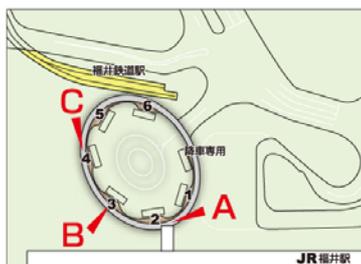
えちぜん鉄道と福井鉄道との乗り入れ
田原町駅の整備イメージ



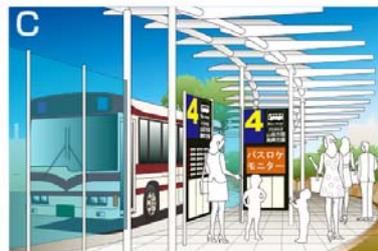
えちぜん鉄道が導入する次世代
超低床車 (LRV) の
デザインイメージ



福井駅西口駅前広場のイメージ



福井駅西口バスターミナル
(バスロケ・標柱設置の位置)



福井駅西口バスターミナル
(バスロケ・標柱のイメージ)

目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

- D 安心・安全を支える鉄道施設づくり (2 施策)
- E 信頼できる運行を支える鉄道施設づくり (1 施策)
- F バス路線の維持 (1 施策)

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33
D 安心・安全を支える鉄道施設づくり											
16	早期の抜本的対策が必要な設備投資	設備投資	軌道整備、橋梁整備、法面整備、車両更新	えちぜん鉄道・福井県	■	■	■	■	■	■	■
17	鉄道施設の維持	線路・電路等維持修繕の実施		えちぜん鉄道・沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
E 信頼できる運行を支える鉄道施設づくり											
18	幹線道路等との立体交差化	福井駅付近連続立体交差事業	福井・福井口間の高架化	福井県	■	■	■	■	■	■	■
F バス路線の維持											
19	バス路線維持への行政支援	欠損補助		福井県・沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■

実施中の事業
 検討・調整中の事業

◇鉄道施設整備に向けた行政支援

沿線全市町：社会資本の維持に必要な経費の支援を行います

福 井 県：鉄道運行に必要な資産取得や設備投資等への支援を行います

◇バス路線の維持に向けた行政支援

沿線全市町：路線バスや地域のコミュニティバス等の維持に必要な経費の支援を行います

福 井 県：広域を運行する路線バスの維持に必要な経費の支援を行います

目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

- G 駅を核としたまちづくり (9 施策)
- H 観光・地域活性化施策との連携 (8 施策)
- I 情報発信の連携・強化 (7 施策)

施策のポイント	実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33
G 駅を核としたまちづくり										
20	駅周辺への都市機能集約	駅周辺の各種都市機能の立地を促進	病院 学校 商業施設 金融機関等の立地促進	沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
21	駅周辺の土地利用誘導	駅周辺に良好な市街地形成を誘導	住宅地・事業用地の形成を誘導	沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
22	福井駅を中心とした居住の誘導	福井駅を中心に、まちなか住まい支援事業を推進し居住の誘導を行う	二世帯型住宅建設等補助、隣接地との共同建て住宅建設補助、小規模集合住宅建設補助、リフォーム補助、若年夫婦世帯等への家賃補助	福井市	→	→	→	→	→	→
23	福井駅前への店舗誘致	中央1丁目出店者への支援	店舗開業経費補助や、家賃補助	福井市 まちづくり福井(株)	→	→	→	→	→	→
24	既存公共施設の利活用推進	既存施設の活用	駅周辺に立地する公共施設の利用推進	沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
25		既存施設の複合化	行政出先機関の統廃合時には、駅周辺にある施設への移転・集約を検討	沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
26	サービス供給の拠点化	サービスセンター 児童館 保育園 高齢者日帰りデーサービス等	新設や移転時には駅周辺への配置を検討	沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
27	駅周辺施設の整備	駅を含めたエリア全体での観光資源拡充	三国駅周辺における歩道等の整備	坂井市	→	→	→	→	→	→
28	交流施設としての駅の活用	観光客や市民が喫茶を楽しみながら集える交流施設の運営	勝山駅でのえち鉄カフェの運営	えちぜん鉄道	→	→	→	→	→	→
H 観光・地域活性化施策との連携										
29	地域色を活かした企画	広域連携による観光の推進 目的別情報発信 オリジナルグッズの作成・販売 沿線特産品の販売促進	自転車用観光地巡りマップ オリジナル乗車券 駅周辺の新鮮野菜販売 沿線特産品の交流販売・コラボメニュー開発	えちぜん鉄道・ 沿線全市町・福井県	→	→	→	→	→	→
30	企画列車の運行	企画列車の運行	ハロウィン列車(実施中)等の運行、観光地とのタイアップ企画、宿泊施設・観光施設と連携したサービス企画	えちぜん鉄道	→	→	→	→	→	→
31	観光用コミュニティバスの運行	土日祝に観光用コミュニティバスを運行	勝山駅と勝山市内を巡る観光用コミュニティバスの運行	勝山市	→	→	→	→	→	→
32	企画バスの運行	鉄道と連携した企画バスの運行	福井駅・あわら湯のまち駅・勝山駅等の主要拠点駅を中心に観光地とタイアップした企画バスを運行	バス事業者・ えちぜん鉄道	→	→	→	→	→	→
33	臨時バスの運行	祭事開催に合わせ、鉄道と連携した臨時バスの運行	三国花火、フェニックス祭り等での臨時バスや増便運行	バス事業者・ えちぜん鉄道	→	→	→	→	→	→
34	バス観光を中心としたフリーきっぷ	鉄道からバスに乗り換えて観光しやすいように、バスのフリーキップの利用促進	休日1日フリーキップ、海岸方面、東尋坊方面への2日間フリーキップ	バス事業者	→	→	→	→	→	→
35	自転車を活かしたサービスの充実	レンタサイクルの利用拡大	レンタル用自転車の更新	えちぜん鉄道・ 沿線全市町	→	→	→	→	→	→
36		サイクルトレインの利用促進	自転車関連イベントとのタイアップ	えちぜん鉄道・ 福井県・沿線全市町	→	→	→	→	→	→

実施中の事業 →
検討・調整中の事業 →

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33
I 情報発信の連携・強化											
37	駅・車内での観光情報発信	主要駅に観光案内窓口設置	土日限定等で開設	沿線全市町・えちぜん鉄道							▶
38		アテンダントによる車内での観光案内	観光シーズンを中心	えちぜん鉄道							▶
39	駅・車内での地域情報・行政情報の提供	駅・車内でのポスターの掲出	イベント情報等を提供	沿線全市町・福井県							▶
40		電車で設置されているモニターの利用	動画による情報発信	沿線全市町・福井県							▶
41	沿線共同での情報発信	沿線市町と県が共同で沿線イベントや観光情報・地域情報等を発信	市町・県の広報媒体やホームページの活用	沿線全市町・福井県・えちぜん鉄道							▶
42	双方向・ダイレクトコミュニケーションの促進	スマートフォン向けアプリの開発、Facebook等の活用	乗り換え情報や駅周辺の観光情報を提供	えちぜん鉄道・沿線全市町							▶
43	勝山市コミュニティバスの時刻表作成	時刻表の作成	全路線の時刻が一冊にまとめた時刻表の作成と配布	勝山市	▶						▶

実施中の事業 
 検討・調整中の事業 

目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

J 乗る運動・利用促進 (8施策)

K 地域住民との連携 (4施策)

施策のポイント		実施項目	実施内容等	実施主体	27	28	29	30	31	32	33
J 乗る運動・利用促進											
44	自治体による利用促進	通勤・出張時の電車利用 行事・イベント時の電車利用促進	自治体職員の通勤及び出張時のえちぜん鉄道利用の強化 行事等には電車利用での参加を推進	沿線全市町・福井県	■	■	■	■	■	■	■
45	カー・セーブ運動の推進	カー・セーブデー(毎週金曜日)の実施	運賃割引 参加企業の拡大	福井県、沿線全市町・えちぜん鉄道・バス事業者	■	■	■	■	■	■	■
46	沿線事業所への利用働きかけ	沿線事業所等への電車利用の働きかけ	沿線事業所等へ電車通勤の働きかけ 社用移動時のえちぜん鉄道利用推進	えちぜん鉄道・沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
47	子どもが電車に乗るきっかけづくり	遠足等でのえちぜん鉄道利用推進	遠足時の運賃を補助 各学校へのルート・最寄施設等の情報提供	沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
48	通勤・通学でのえちぜん鉄道利用促進	通学、通勤利用の促進	えちぜん鉄道を利用した通勤・通学のPR、啓発等	沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
49	利用促進イベントの開催	(例)お客様感謝イベントの開催	電車の利用PR 沿線特産品の販売 えちぜん鉄道支援の広報等	えちぜん鉄道	■	■	■	■	■	■	■
50	公共交通とまちづくりに向けた意識啓発と利用促進	公共交通とまちづくりへの意識啓発と利用促進	カーフリーデーやまちフェスなどの各種イベントに合わせた、公共交通とまちづくり事業の実施	市民団体・企業・えちぜん鉄道・バス事業者・福井市・福井県	■	■	■	■	■	■	■
51	免許返納制度の推進	65歳以上の住民を対象にした自動車免許返納制度の推進	免許返納者には住基カード発行手数料免除や、コミュニティバスの無料乗車券等を交付	沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
K 地域住民との連携											
52	サポーターズクラブの強化	入会の推進 協賛企業の拡大 会員による利用の拡大	会員向け情報発信の強化(DM 会報誌) 特典の拡大強化(セット券 協賛店サービス) 会員向け企画の実施	えちぜん鉄道(えちてつサポーターズクラブ)	■	■	■	■	■	■	■
53	サポート会の活動	利用啓発活動 駅舎・沿線等の環境向上活動 イベント・ツアーの開催	菜の花播種 寄せ植えコンテスト(あわら市)等 サポート会で電車に乗って行くツアーの実施	各サポート会・沿線全市町	■	■	■	■	■	■	■
54	福井市バストリガー制度の導入	バストリガー制度の実施	生活・観光路線である鮎川線の維持向上に向けて、沿線住民による乗る運動とバス停周辺の清掃活動等の実施	福井市・沿線住民・バス事業者	■	■	■	■	■	■	■
55	駅を活用した住民主体のまちづくり活動の促進	えちぜん鉄道・福井鉄道が相互乗入れする田原町駅において住民主体のまちづくり活動を展開する	フリースペースやガーデニングスペースを設け、市民の作品展示やガーデニングによる潤いを演出する	福井市・沿線住民	■	■	■	■	■	■	■

実施中の事業 →
検討・調整中の事業 - - - - -

福井市バストリガー制度について

バストリガー制度とは、延長 30km の広域路線バス「鮎川線」において、上限 1,190 円の運賃を 700 円に引き下げ、代わりに沿線住民の利用を促す。具体的には、年間 4,400 人/年の利用目標と、バス停周辺の清掃やバス停の簡易修繕等を行う。この目標は点数化され一定の基準を達成できれば維持され、未達成の場合は減便や途中での乗継ぎ運行になる。またフリークーポンを発行し、越前海岸への観光の利用を促すもの。



年間利用者数の増加



バス停の清掃

5-3 計画推進のための指標

【事業実施状況の評価】

目指すべき公共交通の将来像の目標と、将来像を実現させるための実施目標の4項目、合計5つの目標について指標を設定し評価を行います。

(1) 目指すべき公共交通の将来像の指標

「車と比べても『選ばれる移動手段』になる」

評価項目	数値目標		定義および根拠
	現状 (H27.3.31)	将来目標 (H34.3.31)	
(評価指標1) 公共交通の利用者数	743万人/年	748万人/年	<p>定義: えちぜん鉄道、路線バス、各市町のコミュニティバス(デマンドバス、デマンドタクシー、地域バスを含む)の利用者合計</p> <p>根拠: 公共交通の利用者を1%増加させる。(えち鉄333万人+路線バスは現状維持+コミュニティバス等は1%程度増加の合計)</p> <p>計測方法: 交通事業者にヒアリング</p>

(2) 目指すべき公共交通の将来像を実現させるための実施目標の指標

■目標1 地域の交通として利用したくなる公共交通の実現

評価項目	数値目標		定義および根拠
	現状 (H27.3.31)	将来目標 (H34.3.31)	
(評価指標2) 新駅の利用者数	—	60,000人/年	<p>定義: 福井駅口駅と西別院駅の間に設置される新駅の利用者数</p> <p>根拠: 開業時の利用見込み人数30,000人/年と予測、過去の新駅実績(約2倍)と同程度と考える</p> <p>計測方法: 交通事業者へのヒアリング</p>
(評価指標3) 相互乗入れによる利用者数	31,496人/年 ※連絡乗車券利用者数	153,000人/年	<p>定義: フェニックス田原町ラインの利用者数</p> <p>根拠: 相互乗入れに関する事業検討会議による試算。通勤定期利用者95,000人/年、通学定期利用者58,000人/年</p> <p>計測方法: 交通事業者へのヒアリング</p>
(評価指標4) えちぜん鉄道利用者の満足度	65%	85%	<p>20ポイント増</p> <p>定義: 幹線交通軸としての利用者の満足度を把握する。</p> <p>根拠: H23.4 実施のえちぜん鉄道アンケート「問6-総合的な満足度」について、満足度を20ポイント向上させる</p> <p>計測方法: アンケート調査</p>

■目標2 安全・安心に利用できる公共交通の実現

評価項目	数値目標		定義および根拠
	現状 (H27.3.31)	将来目標 (H34.3.31)	
(評価指標5) 交通事故の減少数	1,529件/年	1,376件/年	<p>1割減</p> <p>定義: 6市町の人身事故件数</p> <p>根拠: 6市町全体でH25→H26が約2割減少しているが、将来目標としては1割減少を目指す</p> <p>計測方法: 福井県警にヒアリング</p>
(評価指標6) 故障等部内原因による鉄道の遅延障害件数	2件/年	0件/年	<p>定義: 故障等の部内原因による、えちぜん鉄道の遅延障害件数</p> <p>根拠: 遅延障害を0に近づける</p> <p>計測方法: えちぜん鉄道にヒアリング</p>

■目標3 車に頼り過ぎないまちづくりや広域観光と連携した公共交通の実現

評価項目	数値目標		定義および根拠
	現状 (H27.3.31)	将来目標 (H34.3.31)	
(評価指標7) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径500m圏域)の人口	16,777人/年	16,777人/年 → 現状維持	定義: 松岡駅、永平寺口駅、勝山駅、田原町駅、あわら湯のまち駅、三国駅の半径500m以内の町丁目の合計人口 根拠: 6市町全体の人口が減少していることから、現状維持とする 計測方法: 住民基本台帳ベース(各年4月1日付)
(評価指標8) 鉄道とバスが接続する主要拠点駅周辺(半径100m圏域)の生活利便施設の立地件数	44施設	44施設以上	定義: 松岡駅、永平寺口駅、勝山駅、田原町駅、あわら湯のまち駅、三国駅の半径100m以内に立地する生活利便施設の合計 計測方法: 住宅地図上でカウント
(評価指標9) レンタサイクルの利用者数	14,000人/年	16,800人/年 → 2割増	定義: ふくチャリ、えち鉄主要駅、朝倉氏遺跡、湯けむり創生塾、三國湊レンタサイクルまち流し号、ゆめおーれ勝山の利用者数の合計 根拠: 健康志向の高まりや、北陸新幹線開業によるまちなか散策等の観光客が増加しているため、利用者を2割増加させる 計測方法: 市町・事業者へのヒアリング
(評価指標10) 企画列車・企画バスの合計本数	13本	15本 → 2割増	定義: 交通事業者が企画運行する列車やバスの運行本数(朝倉特急バス、レイニーバス、さくら号、竜王ライナー、すいせん号、永平寺特急バス、スキージャム号、三国花火バス、ハロウィーン列車、左義長まつりツアー、勝山小原地区散策ツアー、取立山トレッキングツアー、恐竜電車) 根拠: 北陸新幹線開業による交流人口が増加していることから、交通事業者の企画運行本数を2割程度増加(えち鉄・京福バスが1企画ずつ増加させる) 計測方法: 交通事業者にヒアリング

■目標4 住民・行政・事業者が協働で利用促進する公共交通の実現

評価項目	数値目標		定義
	現状 (H27.3.31)	将来目標 (H34.3.31)	
(評価指標 11) サポート会等の 市民活動の活動回数	45回/年	50回/年 1割増	<p>定義: えち鉄サポート会、サポート団体加盟のNPO・老人会・婦人会、鮎川線トリガー等</p> <p>根拠: 地域(自分)のまちづくりの一環として定着した市民活動回数を1割増加させる</p> <p>計測方法: 活動団体にヒアリング</p>
(評価指標 12) 鉄道を使った 遠足利用者数	146団体/年	146団体/年 現状維持	<p>定義: 中学生以下の児童生徒の遠足利用の団体数</p> <p>根拠: 児童生徒数の減少においても積極的な利用促進を行い、横ばい推移を維持する</p> <p>計測方法: 交通事業者にヒアリング</p>

5-4 計画推進体制

この計画に掲載した利用促進の各施策をスパイラルアップ的に推進するため、地方自治体とえちぜん鉄道、京福バスが協働し、社会情勢の変化に応じた評価・改善の仕組みを定めます。

(1) PDCAサイクルの実行

本計画で掲げた目標を達成するために、コンパクトで住みやすいまちづくりに向けた新たな取組みの計画（Plan）を策定し、計画された取組みを継続的に実施する（Do）、実施した取組みについて検証および評価し（Check）、問題点があれば見直しを検討する（Action）、このようなPDCAサイクルを実行していきます。継続的に連携協議会では、点検・評価の結果を受けて、見直しや修正が必要であれば、適時修正を行い計画期間中の推進を図ります。



図- PDCAサイクルのイメージ

(2) PDCAサイクルの実施体制

PDCAサイクルの実行は、妥当性・有効性・効率性・持続性等の視点を踏まえ、えちぜん鉄道活性化連携協議会が、形成計画の進捗管理および施策の評価・検証を行います。

実施体制としては、えちぜん鉄道活性化連携協議会のもとに「支援管理部会」「バス交通推進部会」「えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会」の3つの部会を設置します。

各部会はプロセスの過程だけを評価・検証するのではなく、施策を実施し、どのような効果があったのか、なぜ成果が出なかったのか、何をすれば利用者のニーズに応えられるのか等、施策を具体的に評価・検証し連携協議会に報告します。

連携協議会は各部会から報告を受けた内容を踏まえ、形成計画全体の進捗管理および施策の評価・検証を行います。

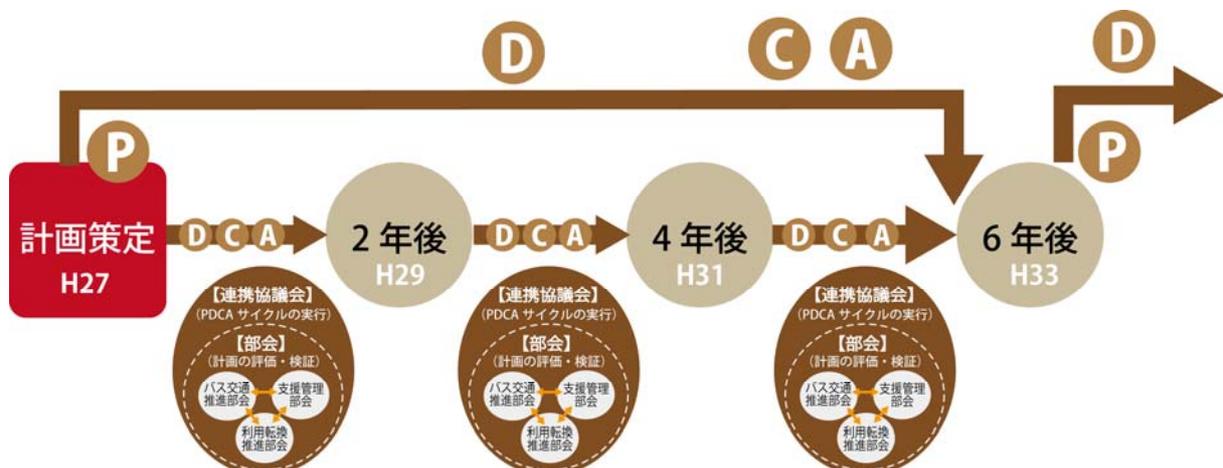


図-PDCAサイクルの実施体制のイメージ

(3) 協議会及び部会の役割

えちぜん鉄道活性化連携協議会のもとに設置された各部会の役割りは以下のとおりです。
また各部会の委員は必要に応じて追加できるものとします。

《えちぜん鉄道活性化連携協議会 委員》

	所 属	役 職	氏 名
委員	国立大学法人 福井大学大学院	教授	川上 洋司
	勝山市	市長	山岸 正裕
	福井市	市長	東村 新一
	あわら市	市長	橋本 達也
	坂井市	市長	坂本 憲男
	永平寺町	町長	松本 文雄(H22.10.4～H26.3.11) 河合 永充(H26.3.12～)
	えちぜん鉄道 沿線サポート団体連絡会	会長	和田 高枝
	特定非営利活動法人 ふくい路面電車とまちづくりの会	会長	内田 佳次
	福井商工会議所	会頭	川田 達男
	えちぜん鉄道株式会社	代表取締役社長	見奈美 徹(H22.10.4～H25.6.13) 豊北 景一(H25.6.14～)
専門委員	国土交通省 中部運輸局鉄道部	鉄道部長	大野 義明(H22.10.4～H24.3.31) 湯田 豊人(H24.4.1～H26.3.31) 梶川 真一(H26.4.1～)
	国土交通省 中部運輸局福井運輸支局	支局長	辻 俊雄(H22.10.4～H23.3.31) 原 良康(H23.4.1～H24.3.31) 牟田 光良(H24.4.1～H25.3.31) 中原 拓(H25.4.1～H26.3.31) 長谷川 雅巳(H26.4.1～)
	福井県	総合政策部長	森近 悦治(H22.10.4～H23.3.31) 東村 健治(H23.4.1～H27.5.18) 山田 賢一(H27.5.19～)
	大野市	産経建設部長	佐子 重夫(H27.3.23～H27.3.31) 朝日 俊雄(H27.4.1～)
	公益社団法人 福井県バス協会	会長	天谷 幸弘(H27.3.23～)

① 支援管理部会

支援管理部会は、鉄道の利用促進策の検討や、市町が行う支援の進行管理・調整、バス交通の連携を推進するための事業計画の策定、計画に位置付けられた事業の進捗管理に関して、具体的に評価・検証を行い、えちぜん鉄道活性化連携協議会に報告します。

《委員および事務局》

	所 属	役 職
委 員	福井市地域交通課	課長
	勝山市環境政策課	課長
	あわら市市民生活課	課長
	坂井市企画情報課	課長
	永平寺町総務課	課長
事務局	福井市地域交通課	

② バス交通推進部会

バス交通推進部会は、鉄道とバス交通の連携を推進するための事業計画の策定、計画に位置付けられた事業の進捗管理に関して、具体的に評価・検証を行い、えちぜん鉄道活性化連携協議会に報告します。

《委員および事務局》

	所 属	役 職
委 員	福井市地域交通課	課長
	勝山市環境政策課	課長
	あわら市市民生活課	課長
	坂井市市民生活課	課長
	永平寺町総務課	課長
	大野市建設整備課	課長
	えちぜん鉄道(株)	部長
	京福バス(株)	部長
専門委員	国土交通省中部運輸局 福井運輸支局	首席運輸企画専門官
	福井県交通まちづくり課	課長
事務局	福井市地域交通課	

③ えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会

えちぜん鉄道・福井鉄道利用転換推進部会は、自動車から公共交通機関等への転換を進めるために、事業計画の策定、計画に位置付けられた事業の進捗管理に関して、具体的に評価・検証を行い、えちぜん鉄道活性化連携協議会に報告します。

《委員および事務局》

	所 属	役 職
委 員	えちぜん鉄道(株)	代表取締役社長
	福井鉄道(株)	代表取締役社長
	福井県交通まちづくり課	課長
	福井市都市戦略部	部長
	勝山市市民・環境部	部長
	鯖江市総務部	部長
	あわら市市民福祉部	理事
	越前市企画部	部長
	坂井市総務部	部長
	永平寺町総務課	課長
事務局	福井県交通まちづくり課	

